

令和 4 年度

通 常 総 会

令和 4 年 6 月 25 日（土） 和歌山県看護協会



公益社団法人 和歌山県看護協会

目 次

公益社団法人和歌山県看護協会基本理念

看護職の倫理綱領

令和4年度 通常総会開催に向けて	1
------------------------	---

令和4年度 通常総会プログラム	2
-----------------------	---

令和4年度 和歌山県看護協会長表彰者	3
--------------------------	---

報告事項

◇令和3年度 理事会報告	4
--------------------	---

◇令和3年度 事業報告	7
-------------------	---

◇令和3年度 職能委員会報告	20
----------------------	----

◇令和3年度 地区支部報告	24
---------------------	----

◇令和3年度 常任委員会・特別委員会・その他の委員会報告	32
------------------------------------	----

◇令和4年度 重点事業	43
-------------------	----

◇令和4年度 事業計画	46
-------------------	----

◇令和4年度 収支予算	53
-------------------	----

議決事項

◇提出議題

第一号議案	57
-------------	----

令和4年度役員及び推薦委員の選出について

令和5年度公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について

第二号議案	59
-------------	----

令和3年度決算報告並びに監査報告

【資料】	63
------------	----

公益社団法人和歌山県看護協会の基本理念

I 使 命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 一 看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向けて結集する
- 一 自律的に行動し協働する
- 一 専門性を探求し新たな価値を創造する

III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の3つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の6つの実現手法を用いて、県民の健康な生活の実現を図るものである。

看護職の倫理綱領

2021 年 日本看護協会

前 文

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

看護職は、免許によって看護を実践する権限を与えられた者である。看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。同時に、専門職としての誇りと自覚をもって看護を実践する。

日本看護協会の『看護職の倫理綱領』は、あらゆる場で実践を行う看護職を対象とした行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、看護の実践について専門職として引き受ける責任の範囲を、社会に対して明示するものである。

本 文

1 看護職は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。

すべての人々は、その国籍、人種、民族、宗教、信条、年齢、性的指向、性自認、社会的地位、経済的状态、ライフスタイル、健康問題の性質によって制約をうけることなく、到達可能な最高水準の健康を享受するという権利を有している。看護職は、あらゆる場において、人々の健康と生活を支援する専門職であり、常に高い倫理観をもって、人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動する。

看護職は、いかなる場でも人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、常に温かな人間的配慮をもってその人らしい健康な生活の実現に貢献するよう努める。

2 看護職は、対象となる人々に平等に看護を提供する。

看護における平等とは、単に等しく同じ看護を提供することではなく、その人の個別的特性やニーズに応じた看護を提供することである。社会の変化とともに健康や生き方への意識も変化し、人々の看護へのニーズは多様化・複雑化している。人々の多様で複雑なニーズに対応するため、看護職は豊かな感性をもって健康問題の性質や人々を取り巻く環境等に応じた看護を提供し、人々の健康と幸福を寄与するよう努める。

また、看護職は、個人の習慣、態度、文化的背景、思想についてもこれを尊重し、受けとめる姿勢をもって対応する。

3 看護職は、対象のなる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。

看護は、高度な知識や技術のみならず、対象となる人々との間に築かれる信頼関係を基盤として成立する。

よりよい健康のために看護職が人々と協調すること、信頼に誠実に答えること、自らの実践について十分な説明を行い理解と同意を得ること、実施結果に責任を持つことを通して、信頼関係を築き発展させるよう努める。

また、看護職は自己の実施する看護が専門職としての支援であることを自覚し、支援上の関係を越えた個人的関係に発展するような行動はとらない。

さらに、看護職は対象となる人々に保健・医療・福祉が提供される過程においては、対象となる人々の考えや意向が反映されるように、積極的な参加を促す。また、人々の顕在的潜在的能力に着目し、その能力を最大限生かすことができるよう支援する。

4 看護職は、人々の権利を尊重し、人々が自らの意向や価値観にそった選択ができるよう支援する。

人々は、知る権利及び自己決定の権利を有している。看護職は、これらの権利を尊重し、十分な情報を提供したうえで、保健・医療・福祉、生き方などに対する一人ひとりの価値観や意向を尊重した意思決定を支援する。意思決定支援においては、情報を提供・共有し、その人にとって最善の選択について合意形成するまでのプロセスとともに歩む姿勢で臨む。

保健・医療・福祉においては、十分な情報に基づいて自分自身で選択する場合だけでなく、知らないでいるという選択をする場合や、決定を他者に委ねるという選択をする場合もある。また、自らの意思を適切に表明することが難しい場合には、対象となる人々に合わせて情報提供を行い、理解を得たうえで、本人の意向を汲み取り、その人にとって最善な合意形成となるよう関係者皆で協働する。さらに、看護職は、人々が自身の価値観や意向に沿った保健・医療・福祉を受け、その人の望む生活が実現できるよう、必要に応じて代弁者として機能するなど、人々の権利の擁護者として行動する。そして、個人の判断や選択が、そのとき、その人にとって最良のものとなるよう支援する。

5 看護職は、対象となる人々の秘密を保持し、取得した個人情報適正に取り扱う。

看護職は、個別性のある適切な看護を実践するために、対象となる人々の秘密に触れる機会が多い。看護職は正当な理由なく、業務上知り得た秘密を口外してはならない。

また、対象となる人々の健康レベルの向上を図るためには個人情報が必要であり、さらに、多職種と緊密で正確な情報共有も必要である。個人情報には氏名や生年月日といった情報のみならず、画像や音声によるものや遺伝情報も含まれる。看護職は、個人情報の取得・共有の際には、対象となる人々にその必要性を説明し同意を得よう努めるなど適正に取り扱う。家族等との情報共有に際しても、本人の承諾を得よう最大限の努力を払う。

また、今日のICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）の発展に伴い、さまざまなソーシャルメディアが普及している。これらを適切に利用することにより、看護職だけでなく、人々にとっても健康に関する有用な情報をもたらすなどの恩恵がある。看護職は、業務上の利用と私的な利用を区別し、その利用に伴う恩恵のみならず、リスクも認識する。また、情報の正確性の確認や対象となる人々と看護職自身のプライバシー権の保護など、細心の注意を払ったうえで情報を発信・共有する。

6 看護職は、対象となる人々に不利益や危害が生じているときは、人々を保護し安全を確保する。

看護職は、常に、人々の健康と幸福の実現のために行動する。看護職は、人々の生命や人権を脅かす行動や不適切な行為を発見する立場にある。看護職がこれらの行為に気づいたときは、その事実を目を背けることなく、人々を保護し安全を確保するよう行動する。その際には、多職種

で情報を共有し熟慮したうで対応する。

また、保健・医療・福祉の提供においては、関係者による不適切な判断や行為がなされる可能性や、看護職の行為が対象となる人々を傷つける可能性があることを含めて、いかなる害の可能性にも注意を払い、人々の生命と人権をまもるために働きかける。非倫理的な実践や状況に気づいた場合には疑義を唱え、適切な保健・医療・福祉が提供されるよう働きかける。

7 看護職は、自己の責任と能力を的確に把握し、実施した看護について個人としての責任をもつ。

看護職は、自己の責任と能力を常に的確に把握し、それらに応じた看護実践を行う。看護職は自己の実施する看護について、説明を行う責任と判断及び実施した行為とその結果についての責任を負う。

看護職の業務は保健師助産師看護師法に規定されている。看護職は関連する法令を遵守し、自己の責任と能力の範囲内で看護を実践する。また、自己の能力を超えた看護が求められる場合には、支援や指導を自ら得たり、業務の変更を求めたりして、安全で質の高い看護を提供するよう努める。さらに、他の看護職などに業務を委譲する場合は自己及び相手の能力を正しく判断し、対象となる人々の不利益とならないよう留意する。

8 看護職は、常に、個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努める。

看護職には、科学や医療の進歩ならびに社会的価値の変化にともない多様化する人々の健康上のニーズに対応していくために、高い教養とともに高度な専門的能力が求められる。高度な専門的能力をもち、より質の高い看護を提供するために、免許を受けた後も自ら進んでさまざまな機会を活用し、能力の開発・維持・向上に努めることは、看護職自らの責任ならびに責務である。

継続学習には、雑誌や図書などの情報や自施設の現任教育のプログラムの他に、学会・研修への参加など施設外の学習、eラーニング等さまざまな機会がある。看護職はあらゆる機会を積極的に活用し、専門職としての研鑽を重ねる。

また、自己の能力の開発・維持・向上のみならず、質の高い看護の提供を保障するために、後進の育成に努めることも看護職の責務である。

9 看護職は、多職種で協働し、よりよい保健・医療・福祉を実現する。

看護職は、多職種で協働し、看護及び医療の受け手である人々に対して最善を尽くすことを共通の価値として行動する。

多職種での協働においては、看護職同士や保健・医療・福祉の関係者が相互理解を深めることを基盤とし、各々が能力を最大限に発揮しながら、より質の高い保健・医療・福祉の提供を目指す。

また、よりよい医療・看護の実現と健康増進のためには、その過程への人々の参画が不可欠である。看護職は、対象となる人々とパートナーシップを結び、対象となる人々の医療・看護への参画のみならず、研究や医療安全などでも協力を得て、ともにより質の高い保健・医療・福祉をつくりあげてを促進する。

10 看護職は、より質の高い看護を行うために、自らの職務に関する行動基準を設定し、それに基づき行動する。

自らの職務に関する行動基準を設定し、それに基づき行動することを通して自主規制を行うことは、専門職としての必須の要件である。この行動基準は、各々の職務に求められる水準やその責務を規定したものであり、看護職の専門的価値を支持するものである。

このような基準の作成は組織的に行い、個人としてあるいは組織としてその基準を満たすよう

努め、評価基準としても活用する。また、社会の変化や人々のニーズの変化に対応させて、適宜改訂する。

看護職は、看護職能団体が示す各種の基準や指針に則り活動する。また、各施設では、施設や看護の特徴に応じたより具体的・実践的な基準等を作成することにより、より質の高い看護を保障するように努める。

11 看護職は、研究や実践を通じて、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。

看護職は、常に、科学的知見並びに指針などを用いて看護を実践するとともに、新たな専門的知識・技術の開発に最善を尽くす。開発された専門的知識・技術は蓄積され、将来のより質の高い看護の提供に貢献する。すなわち、看護職は、研究や実践に基づき、看護の中核となる専門的知識・技術の創造と開発、看護政策の立案に努めることで看護学の発展及び人々の健康と福祉に寄与する責任を担っている。

また、看護職は、保健・医療・福祉のあらゆる研究参加に対する人々の意向を尊重し、いかなる場合でも人々の生命、健康、プライバシーをまもり、尊厳及び権利を尊重するとともに、適切な保健・医療・福祉の提供を保障する。

12 看護職は、より質の高い看護を行うため、看護職自身のウェルビーイングの向上に努める。

看護職がより質の高い看護を提供するためには、自らのウェルビーイングをまもることが不可欠である。看護職が健康で幸福であることが、よりよい看護の提供へとつながり、対象となる人々の健康と幸福にも良好な結果をもたらす。

看護職は、自身のウェルビーイングの向上のために、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）をとることやメンタルヘルスケアに努める。

さらに、看護職の実践の場には、被爆、感染、ハラスメント、暴力などの危険が伴う。そのため、すべての看護職が健全で安全な環境で働くことができるよう、個人と組織の両方の側面から取り組む。

13 看護職は、常に品位を保持し、看護職に対する社会の人々の信頼を高めるよう努める。

看護は、看護を必要とする人々からの信頼なくしては存在しない。常に、看護職は、この職業の社会的使命・社会的責任を自覚し、専門職としての誇りを持ち、品位を高く維持するように努める。

看護に対する信頼は、専門的な知識や技術のみならず、誠実さ、礼節、品性、清潔さ、謙虚さなどに支えられた行動によるところが大きい。また、社会からの信頼が不可欠であり、専門領域以外の教養を深めるにとどまらず、社会的常識などをも十分に培う必要がある。

さらに、看護職は、その立場を利用して看護職の信頼を損なうような行為及び不正行為はしない。

14 看護職は、人々の生命と健康をまもるため、さまざまな問題について、社会正義の考え方をもって社会と責任を共有する。

看護職は、人々の生命、尊厳及び権利をまもり尊重する立場から、生命と健康に深く関わるあらゆる差別、貧困、さまざまな格差、気候変動、虐待、人身売買、紛争、暴力などについて、地球規模の観点から社会正義の考え方をもって社会と責任を共有する。常に、わが国や世界で起きているこれらの問題についての知識を更新し、意識を高め、それらについて社会に発信するよう

努める。また、これらの問題の潜在的な状況から予防的に関わり、多職種や関係機関で連携し看護職として適切な対応をとる。

さらに、看護職は保健・医療・福祉活動による環境破壊を防止する責務を果たすとともに、清浄な空気と水・安全な食物の確保、騒音対策など、人々の健康を保持増進するための環境保護に積極的に取り組む。そして、人々の生命の安全と健康がまもられ平和で包摂的な社会の実現を目指す。

15 看護職は、専門職組織に所属し、看護の質を高めるための活動に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。

看護職は、いつの時代においても質の高い看護の提供を通して社会の福祉に貢献するために、専門職としての質の向上を図る使命を担っている。保健・医療・福祉及び看護にかかわる政策や制度が社会の変化と人々のニーズに沿ったものとなるよう、看護職は制度の改善や政策決定、新たな社会資源の創出に積極的に取り組む。

看護職は看護職能団体に所属し、これらの取り組みをはじめとする看護の質を高めるための活動に参加することを通してよりよい社会づくりに貢献する。

16 看護職は、様々な災害支援の担い手と協働し、災害によって影響を受けたすべての人々も生命、健康、生活をまもることに最善を尽くす。

災害は、人々の生命、健康、生活の損失につながり、個人や地域社会、国、さらには地球環境に深刻な影響を及ぼす。看護職は、人々の生命、健康、生活をまもる専門職として災害に対する意識を高め、専門的知識と技術に基づき保健・医療・福祉を提供する。

看護職は、災害から人々の生命、健康、生活をまもるため、平常時から政策策定に関与し災害リスクの低減に努め、災害時は、災害の種類や規模、被災状況、初動から復旧・復興までの局面等に応じた支援を行う。また、災害時は、資源が乏しく、平常時とは異なる環境下で活動する。看護職は、自身の安全を確保するとともに刻々と変化する状況とニーズに応じた保健・医療・福祉を提供する。

さらに、多種多様な災害支援の担い手とともに各々の機能と能力を最大限に発揮するよう努める。

令和4年度 通常総会開催に向けて

公益社団法人和歌山県看護協会
会 長 東 直子

新緑が目にも鮮やかな季節になりました。各施設では、それぞれ新人を迎え活気と緊張の日々をお過ごしのことと存じます。

今年に入っても新型コロナウイルスは依然と猛威を振るっておりますが、各地で新型コロナワクチン接種や治療薬の開発など急ピッチで進められ、コロナ終息に向けた大きな期待が寄せられています。これまでコロナ対応に携わっている医療従事者の皆さまや、行政はじめ最前線で尽力されている皆さまに深く感謝申し上げます敬意を表します。

新型コロナウイルスによる大きな変化に戸惑いながらも、令和3年度事業も、理事会や各委員会・各支部活動等のご活躍により、順調に進めることができました。皆さまには、看護協会の事業活動に深いご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。令和4年度総会では、その活動報告とともに、令和4年度事業計画を提案させていただきます。

本年の総会については、新型コロナ感染症対応のため、会員の皆さまには出来る限り事前の委任状提出をお願いし、規模を縮小して看護研修センターとWebで開催することとしました。本来なら、多くの会員の皆さまのご参加のもと、決議事項のご審議と合わせ、直接日頃の協会活動をご報告し、ご意見をお伺いする大変よい機会にもかかわらず、このような開催形態となり、お詫び申し上げますとともにご理解を賜ればと存じます。また、ご希望の方については、オンデマンド配信を考えております。

和歌山県看護協会は公益社団法人となり、11年目を迎え、「県民の健康な生活の実現」に向けて更なる事業の充実が求められています。県民誰もが、「住み慣れた地域で安心して適切な医療を受けられる社会」を実現するためには、看護職を軸にした多職種連携がますます重要です。このような状況の中、看護職能団体である本協会は、看護職の役割を認識し、行政はじめ関係団体との連携を密にし、事業の推進に取り組んでまいります。

今年度も、「教育と研鑽に根ざした専門性に基づく看護の質の向上」、「看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくり」、「人々のニーズに応える看護領域の開発・展開」の3つの使命として、6つの事業計画を策定しました。今後徐々に様々な活動が可能となると思われますが、完全な終息が見通せない中で、従来通りの活動が可能な状況になるかはまだ不透明です。協会としては、今後の状況の推移を見ながら、オンライン会議システムの活用なども含めて、できる限り皆さまに対するサービスを図るよう努めてまいりたいと考えております。会員の皆さまからも今後の協会活動の進め方について、ご意見・ご提案があれば遠慮なく賜りたく存じます。

予想を遥かに超える勢いで変革が進む中、取り組む課題が山積みしていますが、これからの医療・看護を取り巻く社会変化をしっかりと見据えて、役職員一同力を合わせて期待される協会作りに努めてまいりますので、今後も皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和 4 年度 通常総会プログラム

日 程：令和 4 年 6 月 25 日（土）

場 所：和歌山県看護研修センター 大ホール

- | | | |
|---------|-----------|--|
| 12 : 20 | 開 場 | Web 視聴の受付（11 : 30～） |
| 12 : 50 | オリエンテーション | |
| 13 : 00 | 開 会 | |
| | | 物故会員への黙祷 |
| | | 会長挨拶 |
| | | 祝電披露 |
| | | 和歌山県看護協会会長表彰 |
| | | （休憩） |
| 13 : 30 | 議長団選出 | |
| | 議事録署名人選出 | |
| 13 : 40 | 報告事項 | |
| | | 令和 3 年度事業報告 |
| | | 職能委員会報告 |
| | | 地区支部報告 |
| | | 令和 4 年度重点事業並びに事業計画 |
| | | 令和 4 年度収支予算 |
| | 議決事項 | |
| | 第一号議案 | 令和 4 年度役員及び推薦委員の選出について
令和 5 年度公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代
議員の選出について |
| | 第二号議案 | 令和 3 年度決算報告並びに監査報告 |
| | 新役員紹介 | |
| | | 旧役員への謝辞 |
| | | 旧役員代表者挨拶 |
| 15 : 30 | 閉 会 | |

*進行上の都合により、時間が変更となる場合があります。

令和 4 年度 和歌山県看護協会長表彰者

(令和4年4月1日現在)

氏名	職種	施設名
秦野 美智代	保健師	海南保健所
向井 君子	助産師	和歌山県立医科大学附属病院
松岡 淑子	看護師	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
尾崎 りえ	看護師	名手病院
中戸 由美子	看護師	学校法人平成医療学園和歌山看護専門学校
藪本 あゆ子	看護師	日本赤十字社和歌山医療センター
池本 義子	看護師	自宅
岡 弘子	看護師	社会医療法人 角谷整形外科病院
松尾 真由美	看護師	海南医療センター
北垣 郁子	看護師	和歌山県立こころの医療センター
榎木谷 久美子	看護師	紀南病院
峯本 久美	看護師	和歌山県立なぎ看護学校

理事会報告

I 理事会等開催状況

1. 理事会

回	開 催 日	時 間	理 事	監 事
1	令和 3年 5月25日(火)	13:30～15:00	18	2
2	令和 3年 6月30日(水)	13:30～14:30	19	2
3	令和 3年 8月12日(木)	13:30～13:40	18	2
4	令和 3年 9月28日(火)	13:30～15:00	18	2
5	令和 3年12月 6日(月)	13:30～14:30	17	2
6	令和 4年 3月 7日(月)	13:30～16:00	18	2

2. 理事・各委員長・地区支部長合同会議開催状況

回	開 催 日	時 間	理 事	委員長
1	令和 3年 5月25日(火)	15:00～16:00	18	9
2	令和 3年 6月30日(水)	14:30～15:30	19	9

3. 代議員研修会開催状況

回	開 催 日	時 間	代 議 員	予備代議員
1	令和 3年 5月21日(金)	13:45～15:45	5	5

II 理事会開催

第1回理事会 令和3年5月25日(火)

【協議事項】

1. 令和2年度事業実施報告（案）について
2. 令和3年度和歌山県看護協会役員及び推薦委員について
3. 令和4年度日本看護協会代議員及び予備代議員について
4. 常任・特別委員の諮問事項について
5. 令和2年度決算報告並びに監査報告について

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会主催会議報告
2. ナース章受章候補者の推薦について
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 会員数について
5. その他

第2回理事会 令和3年6月30日(水)

【協議事項】

1. 役員の選任について
2. 円滑な事業運営について（理事会などの年間計画について）
3. その他

以上 承認

【報告事項】

1. 令和3年度事業計画について（各職能委員会・各地区理事）
2. 日本看護協会報告
3. 会員数について
4. その他

第3回理事会 令和3年8月12日(木)

【協議事項】

1. ナース章の推薦について
2. その他

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 会員数について
5. その他

第4回理事会 令和3年9月28日(火)

【協議事項】

1. 給与規則の改正について

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 担当理事報告
5. 会員数について
6. その他

第5回理事会 令和3年12月6日(月)

【協議事項】

1. 次年度の重点事業(案)について
2. 次年度の事業計画(案)について
3. 次年度教育計画概要(案)について
4. 会報「黒潮」への広告掲載の可否について
5. その他

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 会員数について
5. その他

第6回理事会 令和4年3月7日(月)

【協議事項】

1. 令和4年度看護協会長表彰候補者について
2. 令和4年度各職能委員会・常任委員会・特別委員会・その他委員会（案）等について
3. 令和4年度地区支部予算（案）について
4. 令和4年度収支予算（案）について
5. その他

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 担当理事報告
5. 会員数について
6. その他

令和 3 年度 事業報告

事業報告は、定款 4 条の 6 つの事業に沿って掲載

- (1) 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
- (2) 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- (3) 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業
- (4) 地域ケアサービスの推進に関する事業
- (5) 日本看護協会との協力及び連携に関する事業
- (6) その他本会の目的達成のために必要な事業

・ 二重下線は重点事業 ・ 下線は新規事業

I. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

1. 看護教育に関する事業

1) 教育計画の企画・実施・評価

- (1) 新人教育 5 コース 受講者 340 名
- (2) ジェネラリストを育成する教育 28 コース 受講者 1039 名
- (3) 管理者を育成する教育 7 コース 受講者 288 名
- (4) 教育者・研究者を育成する教育（県受託事業）

①和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会（180 時間）（一部 e ラーニング）

修了者 32 名

②新人看護職員実地指導者研修（5 月 27 日～11 月 22 日のうち 5 日間） 修了者 29 名

(5) 認定看護管理者教育

①認定看護管理者教育課程 ファーストレベル（全日程 21 日間 定員 50 名）

開講式 6 月 11 日（金）、閉講式 7 月 29 日（木） 修了者 54 名

②認定看護管理者教育課程 セカンドレベル（全日程 33 日間 定員 30 名）

開講式 9 月 15 日（水）、閉講式 12 月 1 日（水） 修了者 19 名

③令和 2 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者の看護管理実践報告会

開催日：令和 4 年 4 月 9 日（土） 受講者 98 名

(6) 医療安全

①医療安全研修 受講者 116 名

②医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 受講者 17 名

③医療安全管理者養成研修（集合演習のみ）【日本看護協会主催】 受講者 45 名

(7) その他

①訪問看護入門研修（県受託事業）

開催日：8 月 26 日、9 月 16 日、実習は中止 修了者 12 名

②潜在看護職員復職支援研修（県受託事業）

- 開催日：6月（ビッグU）、10月（看護研修センター） 受講者 12名
- 採血注射技術演習：第1・3木曜日
- 再就業促進研修：11月9日 受講者 10名
- ③和歌山県高齢者権利擁護等推進事業看護実務者研修（県受託事業）
- 開催日：9月9日、10日 受講者 36名
- ④保健師研修（中堅期）（県受託事業） *中止
- ⑤病院勤務の看護職員認知症対応力向上研修（県受託事業）
- 開催日：11月1日、2日、9日（看護研修センター）
- 12月14日、15日、21日（ビッグU） 受講者 69名
- ⑥病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修（県受託事業）
- 開催日：1月13日（看護研修センター）
- 1月18日（ビッグU） 受講者 66名
- ⑦退院支援看護師研修（県受託事業）
- 開催日：9月1日～12月9日のうち6日間 受講者 34名
- ⑧母子保健コーディネータースキルアップ研修（県受託事業）
- 開催日：12月17日 受講者 26名
- ⑨地域災害支援看護師養成研修（県受託事業）
- 講義と演習（講義のみ終了） 受講者 5名
- ⑩その他
- ・認定看護師フォローアップ研修
- 開催日：9月20日（月）13:30～17:00 受講者 67名
- ・「看護管理」に関する出前講座 8施設依頼（7施設実施）受講者 120名（延べ数）
 - ・認定看護管理者交流会（web）
- 開催日：令和4年1月15日（土）10:00～12:00 受講者 28名

2. 学会等学術振興に関する事業

- 1) 令和3年度和歌山県看護研究学会 参加者 201名
- 開催日：令和4年2月5日（土） 開催場所：和歌山県看護協会 大ホール
- 特別講演：災害時における看護のリーダーシップとストレスマネジメント
- 講師 増野 園恵氏 兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 所長・教授
- シンポジウム：自然災害の経験から得た備えと対策
- シンポジスト 訪問看護の立場から
- 和田 聖子氏 幹在宅看護センター 管理者統括
- 病院看護管理の立場から
- 杉山 文栄氏 和歌山県立なぎ看護学校 学校長
- （前新宮市立医療センター 看護部長）

行政の立場から

片家 康裕氏 和歌山県災害対策課 課長

新型コロナ感染拡大防止のため、参加者は web に変更、会場は座長・演者・シンポジスト・看護研究学会委員のみの運営を行った

3. 図書室の運営に関する事業

- (1) 図書・雑誌等の購入及び図書利用の促進

今年度、長期研修会の開催に伴い、昨年度に比べ貸出数は増加した

- (2) 最新看護索引 web 機関版の利用促進

- (3) 「医中誌」の利用促進

4. 災害時の看護支援活動事業

- 1) 災害支援ナースの育成及び登録の推進

- (1) 災害看護に関する研修

- ・災害支援ナースの第一歩（JNA 収録 DVD 研修）
- ・災害看護Ⅱ（災害支援ナース育成研修）
- ・災害看護（管理者対象）

- (2) 災害支援ナース登録者（今年度 9 名登録）

登録数 148 名

- 2) 県看護協会・地区支部のネットワークの強化及び合同訓練

- (1) 災害支援ナース派遣調整合同訓練

- ・日本看護協会と合同訓練（11 月 9 日～11 月 11 日）

24 施設に協力いただき、21 名を派遣

- ・和歌山県看護協会内の合同訓練（1 月 21 日）

委員会で訓練用のシナリオを作成し、17 施設に協力いただき、12 名を派遣

- (2) その他

- ・海南市の防災訓練に参加（11 月 14 日）
- ・近畿地方 DMAT ブロック訓練（DMAT 調整本部運営訓練）の見学（12 月 18 日）
- ・和歌山県災害医療従事者研修に参加（1 月 25 日）
- ・和歌山県災害医療対策会議に参加（3 月 30 日）

- 3) 地域災害支援看護師養成研修事業 （再掲）

II. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

1. 労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

- 1) 就業促進事業

- (1) ハローワークとの連携

- ①復職支援強化・就業促進事業

ナースセンター サテライト開設（ハローワークとの連携）（県受託事業）毎月 2 回

ハローワーク和歌山（第 2・4 金曜日） 22 回

ハローワーク田辺（第 2・4 火曜日） 23 回

実施回数合計 45 回 来所者 求職者 40 名 就業者 20 名

②ナースセンター・ハローワーク連携事業 求職者情報の共有

同意者 15 名のうち、e ナースセンター登録者 8 名、ナースセンターの紹介で 1 名就業

③復職支援コーディネーター会議（書面）2 月 10 日

（2）看護職等の離職時の届け出に関すること（とどけるん）

登録者数 1261 名（前年度から 233 名増加）

（3）ナースバンク事業

①ナースセンターだより（年 4 回）

②就職説明会 *中止

③「e ナースセンター」求職者新規登録者（県内で就業を希望する求職者数）

登録者数 443 名 延 561 名（複数免許所持者はそれぞれに計上）

（内訳：保健師 53 名、助産師 17 名、看護師 406 名、准看護師 82 名、学生 3 名）

④「e ナースセンター」求人施設別登録件数

登録施設数 217 か所 延 268 か所

（4）施設別・雇用形態別就業者数

就業者数 239 名（保健師 19 名、助産師 4 名、看護師 210 名、准看護師 6 名）

（5）ナースセンター推進委員会

・再就業促進研修（ナースの輝く人生応援交流会）11 月 9 日（再掲）

（6）施設訪問

*中止

2）離職防止対策事業

・「ナースの相談窓口」

求職者からの相談 3,411 件、求人施設からの相談 1,210 件

3）看護職の健康管理に関する事業

（1）看護職のメンタルサポートに関する相談 32 件

（2）看護職の喫煙問題に関すること

4）潜在看護職員復職支援強化研修事業

（1）潜在看護職員復職支援研修 2 回（看護研修センター・ビッグ U）（再掲）

（2）ナースのお仕事相談（ハローワークとの連携）和歌山・田辺（月 2 回ずつ）（再掲）

（3）採血注射技術演習（第 1・第 3 木曜日他）

定期の技術演習に加え、新型コロナウイルスワクチンの筋肉注射演習の実施

開催数：39 回（内訳 田辺市の会場で 2 回、看護研修センター 37 回）

参加者：91 名参加（延数）（内訳 筋肉注射演習 77 名）

（4）和歌山県医療勤務環境改善センター運営協議会等への参画

研修会：10 月 29 日（金）（web）

(5) 看護職の働き方改革の推進

プラチナナースの活躍促進

(6) 「就業継続が可能な看護職の働き方」の普及・推進

2. 新型コロナウイルス感染症対策事業関係

- 1) 「新型コロナウイルス感染症に係る保健所体制強化のための保健所支援業務」(県受託事業)
8 保健所(橋本・岩出・和歌山市・海南・湯浅・御坊・田辺・新宮)に 54 名(実数)を看護協会が臨時雇用し派遣。うち、ナースセンターからの紹介 31 名(実数)
- 2) 「新型コロナウイルス感染症の宿泊療養における看護師派遣」(県受託事業)
5 月～7 月、9 月～3 月まで看護職延べ 71 名(実数 28 名)をナースセンターからの紹介により看護協会が臨時雇用し派遣。
- 3) 「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務」(日看協受託事業)
e ナースセンターにワクチン接種業務の就業希望者としての登録を行い、必要なワクチン接種研修を受講する。その後、令和 3 年 5 月 21 日以降 12 月 4 日までに新たにワクチン接種業務に従事した場合に、当該看護職等に対して、就業準備金として一人 1 回限りで 3 万円が支給される。145 名の該当者に申請書を発行
- 4) 「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材調整事業広域人材調整事業」(日看協受託事業)
令和 4 年 1 月 15 日～2 月 1 日まで沖縄県へ 1 名派遣
- 5) 新型コロナウイルスワクチンに従事する看護職確保
市町村 8 名、職域接種 24 名派遣調整
- 6) PCR 検査補助看護職確保
臨時雇用 1 名派遣調整

Ⅲ. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業

1. 三職能合同活動

- 1) 研修会 令和 3 年 9 月 4 日(土) 13:30～16:00 受講者 91 名
テーマ「地域共生社会実現に向けて」(web)
講師: 金川 めぐみ氏(和歌山大学 経済学部 教授)
シンポジウム 各職能 4 名

2. 保健師職能委員会活動

- 1) 職能集会 令和 4 年 2 月 26 日(土) 受講者 20 名
講演 テーマ「実践力 UP 若手を支えるための事例検討会」(web)
- 2) 保健師交流会 令和 3 年 10 月 23 日(土) 受講者 36 名
テーマ「災害時の保健活動」(web)
- 3) 組織強化への対策

- (1) 「保健師職能だより」発行
- 4) 保健師活動指針の普及・活用

3. 助産師職能委員会活動

- 1) 職能集会 令和3年11月13日(土) 10:00～12:00 受講者 30名
テーマ：香川県における母子支援の取り組みについて (web)
- 2) 助産師研修会開催
第1回 助産師研修 令和3年8月21日(土)
テーマ：①分娩期の胎児心拍数陣痛図(CTG) (web) 受講者 43名
②新生児のフィジカルアセスメント (web) 受講者 43名
第2回 助産師研修 令和4年2月19日(土) 10:00～12:00
テーマ：緊急時の対応 (web) 受講者 37名
～母体急変時の初期対応の原則・母体急変時への対応の実際～
- 3) 助産師交流会 令和3年11月13日(土) 13:00～15:00 受講者 8名

4. 看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同活動

- 1) 職能集会
看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 (web) 受講者 87名
日時：令和3年9月4日(土) 10:00～12:00
テーマ：「病院と地域をつなぐ看・看連携」
講師：角田 直枝氏(茨城県立中央病院 看護局長)

5 - 1. 看護師職能Ⅰ委員会活動

- 1) 病院領域における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
 - (1) 研修会の開催
 - ①准看護師研修会
日時：令和3年7月10日(土) 13:30～16:00 受講者 18名
テーマ：今さら聞けない感染対策
講師：吉田 俊晴氏(有田市立病院 感染管理認定看護師)
 - ②男性看護職交流会
日時：令和3年9月11日(土) 13:30～16:00 受講者 27名
テーマ：男性看護師のキャリアアップとストレスヘルスケア
講師：檜葉 雅人氏(和歌山県立医科大学保健看護学部 精神看護学)
 - ③看護管理者研修
日時：令和3年12月4日(土) 13:30～16:00 受講者 57名
- 2) 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る
- 3) 看護師職能の活動に関する実態調査

5 - 2. 看護師職能Ⅱ委員会活動

- 1) 介護・福祉施設・在宅領域（診療所も含む）の看護の質の向上と連携について

①看護師職能Ⅱ研修会（web）

日 時：令和3年12月11日（土）13:30～16:00

受講者 90 名

テーマ：エンド・オブ・ライフケア

「最後まで自宅で過ごしたいと願う全ての人の思いにこたえるために」

講 師：平原 優美氏（あすか山訪問看護ステーション 統括所長）

- 2) 地域包括ケアシステムの推進に向けたネットワークづくりについて

①訪問看護連絡協議会との合同研修会

日 時：令和3年11月20日（土）13:30～16:00

受講者 39 名

テーマ：LIFE～病気と共に生きる～

講 師：古川 嘉代氏（有田市立病院）

高塚 美都里氏（訪問看護ステーションフロムはーと）

②高齢者ケア施設看護師交流会（web）

日 時：令和3年10月22日（金）13:30～16:00

受講者 29 名

テーマ：介護施設の管理者のマネジメント

講 師：沢田 淳子氏（公立大学法人宮城大学看護学群 老年看護学領域）

- 3) 看護協会活動の PR を行い施設・在宅領域の協会員の増員を図り看護師職能の組織強化を図ることについて

①各研修で看護協会のパンフレットを配布し、活動を PR し入会促進を図る

②黒潮に「看護師職能委員会活動の報告」を掲載

6. 医療安全の推進に関する事業

- 1) 医療安全研修会（再掲）
- 2) 医療施設の医療安全情報をホームページに掲載
- 3) 医療安全に関する相談対応・情報提供
 - （1）黒潮に掲載「医療安全数珠つなぎ」

IV. 地域ケアサービスの推進に関する事業

1. 看護の心普及啓発事業

1. 看護の心普及啓発事業

- 1) まちの保健室の開催 *中止

- 2) 看護週間事業

・ふれあい看護体験 *中止

・8 地区支部での 1 日まちの保健室 *6 地区中止、2 地区支部で若年層を対象に啓発

・看護の日の記念行事（ナースデイフェスタ 和歌山）

日 時：5 月 1 日（土）13:00～15:00

テーマ：「あきらめずに寄りそい続けて～自殺防止の現場から～」

講師：藤藪 庸一氏（白浜バプテスト教会基督協会牧師、白浜レスキューネットワーク理事長）

参加人数：高校生 35 名、一般・医療職 10 名 合計 45 名

3) 看護学生への進路相談 *中止

4) 老人看護月間行事 *中止

・「出前健康チェック」等

2. 訪問看護の推進事業

訪問看護入門研修 3 日間（再掲）（うち、実習 1 日は中止）

3. その他

1) 新型コロナウイルス感染症対策事業関係

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る保健所体制強化のための保健所支援業務

(県受託事業) (再掲)

(2) 看護師養成所等実習補完事業 (県受託事業)

養成所 6 校

(3) 新型コロナウイルス感染症の宿泊療養における看護師派遣 (県受託事業)

宿泊療養事前オリエンテーション 4 月 30 日 8 名、8 月 27 日 14 名

宿泊療養における急変時の対応訓練 10 月 20～25 日 受講者 8 名 (看護師)

(統括責任者、生活支援員も参加)

宿泊療養支援に勤務する看護職員研修 12 月 10 日 紀南 受講者 5 名

12 月 13 日 紀北 受講者 30 名

宿泊療養施設感染管理実地指導 12 月 17 日～1 月 12 日 8 回

(4) 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務 (日看協受託事業)

ワクチン接種従事希望者研修 採血・注射演習と同時開催 受講者 77 名

(5) 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材調整事業広域人材調整事業

(日看協受託事業) (再掲)

V. 日本看護協会との協力及び連携に関する事業

1. 日本看護協会との連携

1) 日本看護協会主催の会議

(1) 通常総会 (幕張メッセ) 6 月 9 日 (水) (web)

全国職能交流集会 (幕張メッセ) 6 月 10 日 (木) (web)

(2) 理事会 年 6 回 5 月 7 日 (金)、6 月 9 日 (水)、7 月 29 日 (木)・7 月 30 日 (金)、
9 月 17 日 (金)、11 月 25 日 (木)・11 月 26 日 (金) 東京、
令和 4 年 2 月 24 日 (木)・2 月 25 日 (金) 11 月以外は web

(3) 全国職能委員長会 7 月 5 日 (月)～7 月 9 日 (金) (web)

第2回全国職能委員長会 令和4年3月3日(木)(web)

(4) 全国法人会員会 6月4日(金)、7月30日(金)、9月17日(金) (web)

(5) 地区別法人会員会 10月25日(月) 10月26日(火) 和歌山県
地区別職能委員長会 10月26日(火)(web)

(6) 各担当学会議(web)

- ・2021年度 認定看護管理者教育機関担当学会議 5/27(寒川、岡室)
- ・令和3年度 都道府県母子のための地域包括ケアシステム推進会議 9/8 (松下)
- ・2021年度 ナースセンター地区別意見交換会 9/13(中川、松下)
- ・2021年度 都道府県看護協会政策責任者会議 9/16(東、松下、岡室)
- ・2021年度 会員情報管理情報交換会 10/4(宮川、岡室)
- ・2021年度 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 11/11 (東)
- ・2021年度 全国看護基礎教育担当役員会議 11/5 (岡室)
- ・令和3年度 災害支援ナース調整訓練 11/9～11/11
- ・2021年度 都道府県看護協会広報担当役員会議 11/12 (松下)
- ・2021年度 都道府県看護協会災害看護担当学会議 12/16 (岡室)
- ・2021年度 近畿地区看護協会人材確保・定着担当学会議 1/24(中川、松下)
- ・2021年度 地域に必要な看護職確保推進事業実施報告会 3/23(中川、松下)

2. 日本看護協会重点政策への協力

- 1) 看護基礎教育制度改革の推進
- 2) 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築
- 3) 看護職の働き方改革の推進
- 4) 看護職の役割拡大の推進と人材育成

VI. その他本会目的達成のために必要な事業

1. 組織強化に関する事業

- 1) 会員数の増加・拡大
 - (1) ホームページの充実
 - (2) 新人看護職員オリエンテーション *中止
 - (3) 病院協会 新人職員オリエンテーション (1月24日)
 - (4) 看護師等学校養成所の行事への参加
(和歌山県立なぎ看護学校 宣誓式、和歌山看護専門学校 入学式・戴帽式)
 - (5) 看護学校への訪問
(和歌山県立なぎ看護学校、和歌山看護専門学校、日高看護専門学校)
- 2) 会員サービスの充実
 - (1) ホームページ等での情報提供(スマホ対応)
 - (2) 会員からの問い合わせ・相談対応

(3) 会員の福利厚生（表彰・慶弔見舞・災害見舞・大和ハウス工業（株）と九州メディカルサービス（株）医療用弾性ストッキングの会員割引等）

・日本看護協会長表彰

古川 紀子氏

・和歌山県看護協会長表彰

釜坂 加寿恵氏（和歌山県立なぎ看護学校）

尾崎 久美氏（日高川町役場）

慈幸 奈美氏（日本赤十字社和歌山医療センター）

清水 多津子氏（国保野上厚生総合病院）

藤本 美幸氏（公立那賀病院）

芝田 里花氏（日本赤十字社和歌山医療センター）

芝瀧 ひろみ氏（和歌山県立医科大学附属病院）

遠藤 栄理氏（和歌山労災病院）

宮井 ひろみ氏（ケアサポートさくら 訪問看護ステーション）

高垣 ふじ代氏（西岡病院）

小松 香世美氏（ひだか病院）

藤澤 環氏（新宮市立医療センター）

・和歌山県ナース章

池下 ゆかり氏（和歌山県立医科大学附属病院）

小松 香世美氏（ひだか病院）

宮崎 眞理氏（国保すさみ病院）

鬼塚 哲郎氏（紀南こころの医療センター）

新界 紀子氏（済生会有田病院）

服部 園美氏（和歌山県立医科大学保健看護学部）

釜坂 加寿恵氏（和歌山県立なぎ看護学校）

中山 美代子氏（和歌山県立医科大学附属病院）

山崎 裕子氏（日本赤十字社和歌山医療センター）

尾崎 久美氏（日高川町役場）

東 登紀子氏（御坊保健所）

3) 地域における看護職のネットワーク強化事業（県看護協会の普及・啓発）

2. 円滑な組織運営

1) 諸会議の開催

(1) 総会 令和3年6月26日（土） 場所：和歌山県看護協会 大ホール

* 昨年に引き続き、規模を縮小し和歌山県看護協会 大ホールで開催
参加できない方には看護協会を知ってもらうため web で視聴を可能

参加者：会員 63 名・理事 20 名、委任状：4,840 名（視聴 36 名）合計：4,923 名

(2) 理事会（年 6 回）

第 1 回 5/25（火）、第 2 回 6/30（水）、第 3 回 8/12（木）

第 4 回 9/28（火）、第 5 回 12/6（月）、第 6 回 3/7（月）

(3) 理事・各委員長合同会議（年 2 回）

第 1 回 6/30（水）、第 2 回 5/24（火）

(4) 代議員研修会（web）

5/21（金）

(5) 監査（年 2 回）

11/15（月）、5/16（月）

(6) 施設代表者会

第 1 回 10 月 16 日（土）場所：和歌山県看護協会 出席者 95 名

報告「県内におけるハラスメント対策の現状」

報告者 社会経済福祉委員会委員長 竹中 武馬 氏

講演「ハラスメント対策と予防対策における看護管理者の役割」

講師 日本看護協会 参与 友納 理緒 氏

第 2 回 3 月 8 日～25 日 8 か所で開催 出席者 95 名(延べ数)

(7) 各委員会の開催

①職能委員会

保健師職能委員会 7 回

助産師職能委員会 9 回

看護師職能委員会Ⅰ 6 回

看護師職能委員会Ⅱ 11 回

②常任委員会

社会経済福祉委員会 6 回

教育委員会 13 回

広報委員会 7 回

看護研究学会委員会 12 回

医療安全対策委員会 6 回

災害看護対策委員会 7 回

③特別委員会

まちの保健室運営委員会 3 回

ナースセンター事業推進委員会 4 回

認定看護管理者教育運営委員会 7 回

認定看護師フォローアップ委員会 4 回

④その他の委員会

和歌山認定看護管理者会 4 回

推薦委員会 2 回

選挙管理委員会 1 回

2) 広報

- (1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」発行 年 4 回
ナースセンターだより 年 4 回 (再掲)
- (2) ホームページの充実及び閲覧の推進

3. 認定看護管理者による看護管理者からの相談窓口 (ホームページ)

「よろず相談」 回答までの流れを再検討し、各施設へ再案内

4. 政策への参画

- ・行政や県議会等への要望
- ・和歌山県看護連盟との連携

5. 関係団体共同事業参加

1) 関係機関の委員会および協議会等への参画

- ・学校法人平成医療学園 和歌山県看護専門学校入学式 4/8 (東)
- ・和歌山看護実践研究センター開講記念 4/17 (東)
- ・和歌山県看護教育機関連絡協議会総会 4/24 (東)
- ・和歌山県福祉人材センター運営委員会 (書面) 4/28 (松下)
- ・和歌山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 (書面) 5/10 (松下)
- ・社会福祉法人恩賜財団済生会支部理事会 (書面) 5/15 (東)
- ・日本赤十字社和歌山医療センター治験審査委員会 5/18,7/21,9/21,11/16,1/18,3/15 (東)
- ・和歌山市新型コロナワクチン接種連絡調整会議 5/22 (東)
- ・和歌山地域吸入療法ネットワーク講習会世話人会 5/28 (岡室)
- ・令和 3 年度福祉サービス運営適正化委員会苦情解決合議体委員 (書面) 6/14,10/19 (東)
- ・赤十字和歌山医療センター地域医療支援運営委員会 (書面) 6/18 (東)
- ・令和 3 年度 和歌山県精神保健福祉協会定期総会 6/21 (岡室)
- ・令和 3 年度 公益社団法人和歌山県青少年育成協会通常総会 (書面) 6/22 (東)
- ・第 12 回 和歌山保健看護学会学術集会 準備委員会 (web) 4/14,6/16,7/21,8/25 (岡室)
- ・和歌山県薬事審議会 7/1 (岡室)
- ・第 12 回 和歌山保健看護学会学術集会 理事会・評議員会 7/14 (岡室)
- ・令和 3 年度和歌山県女性会議理事会 7/16 (東)
- ・令和 3 年度福祉サービス運営適正化委員会第 2 回苦情解決合議体 7/20 (東)
- ・和歌山県医療審議会法人部会 7/27,11/30 (東)
- ・令和 3 年度 和歌山県介護普及センター運営会議 (書面) 7/27 (東)
- ・循環器病対策推進計画 7/29,11/11,3/17 (東)
- ・第 26 回和歌山県病院協会学術大会プログラム委員会 8/6 (東)
- ・第 12 回 和歌山保健看護学会学術集会 8/8 (岡室)

・和歌山腎不全看護研究会	9/25, 3/6	(岡室)
・和歌山県看護教育機関連絡協議会 (web)	10/4	(東)
・和歌山県立なぎ看護学校の宣誓式	10/29	(東)
・ナース章式典	11/2	(東・岡室)
・学校法人平成医療学園和歌山看護専門学校の戴帽式	11/2	(松下)
・和歌山地域吸入療法ネットワーク講習会 (web)	11/7	(岡室)
・第 26 回和歌山県病院協会学術大会	11/23	(東・岡室・松下)
・第 13 回和歌山保健学会学術集会準備委員会 (web)	1/12,2/18	(岡室)
・和歌山県病院協会学術大会企画運営委員会	1/28	(東)
・介護認定合議会	2/1	(東)
・第 8 期和歌山市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 (書面)	2/22	(松下)
・済生会理事会 (書面)	2/17	(東)
・和歌山県看護教育機関連絡協議会 (web)	2/17	(東)
・令和 3 年度和歌山県骨髓移植対策懇話会 (書面)	2 月中	(岡室)
・令和 3 年度和歌山県医薬品安全安心使用懇話会 (書面)	2 月中	(岡室)
・第 9 回和歌山市障害者差別解消調整委員会 (書面)	3/24	(松下)
・令和 4 年度認知症等支援事業及び若年性認知症対策支援事業者選定委員会	3/25	(東)
・長寿社会対策推進会議	3/29	(東)
・令和 3 年度災害医療対策会議 (web)	3/30	(岡室)

2) 後援・協賛依頼への協力

- ・第 8 回 日本医療安全学会学術総会
- ・第 42 回 関西ストーマケア講習会
- ・第 70 回 公益社団法人日本ソーシャルワーカー協会全国大会ならびに
- ・第 24 回 日本医療社会事業学会
- ・第 28 回 和歌山県介護老人保健施設大会
- ・日本医療マネジメント学会 第 16 回和歌山支部学術集会
- ・2021 年度「日本肝臓学会市民公開講座」
- ・日本消化器病学会近畿支部第 66 回市民講座
- ・禁煙フォーラム 2021
- ・第 8 回 医療と会議の総合展・大阪
- ・令和 3 年度 福祉・介護・保育の就職フェアわかやま

保健師職能委員会

委員長：中谷 秀美

【Ⅰ.活動目標】

住民が健康で安心して暮せる地域をつくりため、保健師の連携強化・資質向上を図り、いきいきと元気に活動する。

【Ⅱ.活動内容】

1. 職能委員会開催回数：9回

2. 三職能合同研修会(指定会場＋Web研修)

日時：令和3年9月4日（土）13:30～16:00

テーマ：「地域共生社会実現に向けて」

講演 講師：金川 めぐみ氏 和歌山大学経済学部経済学科 教授

シンポジウム 座長：稲垣 伊津穂氏 名手病院

シンポジスト保健師職能：川井 妙氏

助産師職能：永増 祐加氏

看護師職能Ⅰ：雑賀 祐子氏

看護師職能Ⅱ：丸山 美智子氏

場所：看護研修センター 大ホール

受講者：91名（内 Web 60名）

3. 交流会（Web研修のみ）

日時：令和3年10月23日（土）13:30～16:00

テーマ：災害時の保健活動

講師：松本 珠実氏 大阪市健康局健康推進部

場所：看護研修センター

受講者：36名

4. 職能集会（指定会場＋Web研修）

日時：令和4年2月26日（土）14:00～16:00

テーマ：「実践力UP 若手を支えるための事例検討会」

講師：佐藤 睦子氏 淑徳大学看護栄養学部 准教授

場所：看護研修センター 第1会議室

受講者：20名（内 Web 14名）

5. その他

①会員増に関する対策 ・保健師職能だよりの発行1回

②保健師及び看護職間の連携強化

- ・協会健保和歌山、市町村保健師協議会、和歌山産業保健総合支援センターへの普及啓発を行った
- ・助産師職能研修会に参加し、保助看の連携を図った。

【Ⅲ.今後の課題】

1. 協会活動の中で、保健師職能の役割や入会メリットを伝え、ネットワークと組織強化に繋げる
2. 新任期、中堅期、管理期等ラダーに基づき求められる保健師像の実現にむけて人材育成に取り組む
3. 生活習慣病予・重症化予防に取り組むための看看連携及び産業保健との活動の共有をはかる。

助産師職能委員会

委員長：沖 婦美代

【Ⅰ.活動目標】

1. 助産師のキャリアパス/助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の普及と啓発
2. 助産実践能力向上のためのキャリアアップ研修会の開催
3. 地域母子保健活動の推進

【Ⅱ.活動内容】

1. 職能委員会：9回開催
2. 助産師職能集会
日時：令和3年11月13日（土） 10:00～12:00
テーマ：「妊娠期から育児期までの切れ目のない他職種連携を考える」
～香川県における母子支援の取り組み～
講師：公益社団法人日本看護協会 助産師職能委員
野口 純子氏 香川県立保健医療大学 助産専攻科
対象：助産師 保健師 看護師 参加者：30名
3. 三職能合同研修会
日時：令和3年9月4日（土） 13:30～16:00
テーマ：「地域共生社会の実現に向けて」
講師：金川 めぐみ氏 和歌山大学経済学部 教授
シンポジウム：保健師 助産師 看護師からの活動報告
4. 産科管理者交流会
日時：令和3年11月13日（土） 13:00～14:30
テーマ：「各施設における他職種との地域連携を考える」
対象：助産師 産科管理者 参加者：10名
5. 助産師研修会
《第1回研修会》
 - 1) 日時：令和3年8月21日（土）10:00～12:00
テーマ：CTGによる胎児心拍モニタリング
講師：中田 久実子氏 和歌山県立医科大学附属病院 産婦人科医師
対象：助産師 看護師 助産師学生 参加者：43名（ZOOM 30名）
 - 2) 日時：令和3年8月21日（土）13:00～15:00
テーマ：新生児フィジカルアセスメント
講師：熊谷 健氏 和歌山県立医科大学附属病院 小児科医師
対象：助産師 看護師 助産師学生 参加者：43名（ZOOM 30名）《第2回研修会》
 - 1) 日時：令和4年2月19日（土）10:00～12:00
テーマ：緊急時の対応 ～母体急変時の初期対応の原則・母体急変への対応の実際～
講師：山西 恵氏 日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科医師
対象：助産師・看護師・助産師学生 参加者：37名
6. 近畿地区助産師合同研修会
日時：令和3年12月11日（日）10:00～12:30
テーマ：「母子のための地域包括ケア推進 助産師ができること」
グループワーク：コロナ禍での取り組み、助産師外来・院内助産、助産師出向システム
産後ケア事業、アドバンス助産師の役割、産科混合病棟 ユニットマネジメントについて
情報共有
参加者：近畿地区 助産師職能委員

【Ⅲ. 今後の課題】

助産実践能力向上のためのキャリアアップ研修会の開催を継続する。
「母子のための地域包括ケア病棟」の普及・推進に向け、各施設の現状と課題について情報収集を行うと共に、アドバンス助産師交流会を開催し、アドバンス助産師の活動を通して、各施設、及び和歌山県下の地域の実情に即した、妊産婦や母子に必要な支援の提供体制が整えられるよう活動を行う。

看護師職能委員会 I

委員長：木村 和美

【Ⅰ.活動目標】

1. 地域包括ケアシステムにおける看護管理者の連携推進に向けた情報収集・課題発見
2. 病院における看護職に関連した本会事業のトピックスに対するタイムリーな課題発見と意見集約

【Ⅱ.活動内容】

1. 委員会開催回数：6回、看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同委員会 年3回、三職能合同委員会 年1回
2. 病院領域における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
3. 地域共生社会における看看連携への取り組み
4. コロナ禍の状況で働く病院看護師へのメンタルヘルスケア

看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会

日 時：令和3年9月4日（土） 10：00～12：00（WEB開催）

テーマ：「病院と地域をつなぐ看看連携」

講 師：角田 直枝氏 茨城県立中央病院 看護局長

場 所：和歌山県看護協会研修センター 大ホール 受講者：87名

三職能合同研修会

日 時：令和3年9月4日（土） 13：30～16：00

テーマ：地域共生社会の実現に向けて

講 師：金川 めぐみ氏 和歌山大学経済学部 教授

講演および三職能でシンポジウム

場 所：和歌山県看護協会研修センター 大ホール 受講者：91名

准看護師研修会

日 時：令和3年7月10日（土） 13：30～16：00

テーマ：今さら聞けない感染対策

講 師：吉田 俊晴氏 有田市立病院 感染管理認定看護師

場 所：和歌山県看護協会研修センター 大ホール 受講者：18名

男性看護師交流会

日 時：令和3年9月11日（土） 13：30～16：00

テーマ：男性看護師のキャリアアップとストレスヘルスケア

講 師：樫葉 雅人氏 和歌山県立医科大学保健看護学部

場 所：和歌山県看護協会研修センター 大ホール 受講者：27名

看護管理者研修会

日 時：令和3年12月4日（土） 13：30～16：00

テーマ：看護師長アンケートをもとに座談会

場 所：和歌山県看護協会研修センター 大ホール 受講者：57名

【Ⅲ.今後の課題】

1. 地域共生社会における看看連携への取り組み
2. 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る
3. 臨床経験3年目以内の若手看護師の就業継続に関する検討

看護師職能委員会Ⅱ

委員長：東 るみ子

【Ⅰ. 活動目標】

1. 介護・福祉施設・在宅領域（診療所も含む）の看護の質の向上と連携
2. 地域包括ケアシステムの推進に向けたネットワークづくり
3. 三職能の連携強化
4. 看護協会活動のPRを行い施設・在宅領域の協会の増員を図り看護師職能の組織強化を図る

【Ⅱ. 活動内容】

1. 委員会開催回数：10回
2. 介護・福祉施設・在宅領域（診療所も含む）の看護の質の向上と連携について
 - 1) 看護師職能ⅠⅡ合同集会
日時：令和3年9月4日（土） 10:00～12:00
テーマ：「病院と地域をつなぐ看-看連携」
講師：角田 直枝氏 茨木県立中央病院 看護局長
場所：Web 及び看護研修センター
 - 2) 看護師職能Ⅱ研修
日時：令和3年12月11日（土） 13:30～16:00 場所：看護研修センター
テーマ：エンドオブライフ・ケア『最期まで自宅で過ごしたいと願う全ての人の思いにこたえるために』
講師：平原 優美氏 あすか山訪問看護ステーション
場所：Web 及び看護研修センター
 - 3) 各研修会で「訪問看護及び介護施設等の看護管理者研修プログラムDVD」を流す
介護・福祉施設・在宅領域（診療所も含む）の看護の質の向上と連携
各研修会会場での待ち時間にDVDを視聴する
3. 地域包括ケアシステムの推進に向けたネットワークづくりについて
 - 1) 訪問看護連絡協議会との合同研修の開催
テーマ：LIFE～病気と共に生きる～
日程：令和3年11月20日（土）
講師：古川 嘉代氏 有田市立病院訪問看護ステーション
高塚 美都里氏 訪問看護ステーションフロムハート
場所：Web 及び看護研修センター
 - 2) 高齢者ケア施設看護師交流会
日時：令和3年10月22日（金） 13:30～16:00
テーマ：「介護施設の管理者のマネジメント」
講師：沢田 淳子氏 愛知医科大学看護学部 助教
場所：Web 及び看護研修センター
4. 三職能の連携強化について
 - 1) 三職能合同研修会
日時：令和3年9月4日（土） 13:30～16:00
テーマ：地域共生社会実現に向けて（講演会とシンポジウム）
講師：シンポジストは各職能で選出
場所：Web 及び看護研修センター
5. 看護協会活動のPRを行い施設・在宅領域の協会の増員を図り看護師職能の組織強化を図るについて
 - 1) 各研修で看護協会のパンフレットを配布し、活動をPRし入会促進を図る
 - 2) 黒潮に「看護師職能委員会活動報告」を掲載

地区支部報告

伊都地区支部

支部長： 西 未知子

【Ⅰ.活動目標】

1. 地区支部活動、研修を通し、地域の保健・医療・福祉の連携を深め地域の看護の質の向上に努める
2. 地区支部活動通じ、地域住民の健康増進に努める

【Ⅱ.活動内容】

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1 日まちの保健室					コロナウイルス感染症感染拡大のため中止
地区支部研修会	感染管理マネージャー養成研修	病院・施設勤務看護師	11 月より 7 回予定（5 回実施）	15 名	病院・診療所 5 施設 7 名 介護施設 7 施設 8 名 コロナ感染拡大に伴い次年度に 2 回は繰越 皆さん真剣な様子で参加されており、クラスター発生時には訪問もさせて頂き支援をしました
橋本市教育委員会主催 こども冒険村事業 看護師派遣					開催中止
橋本市教育委員会主催 すこやかまなびの日	手洗いチェッカーを用い手洗い講習	地域住民	11/14	地域住民 103 名	
かつらぎ町ボランティアまつり					開催中止
橋本市教育委員会主催 「ジュニアリーダー研修会」					開催中止
部長会	情報共有	看護部長	(R3) 9,10,11,12 月 (R4)3 月	4 名	コロナ禍における情報共有、スタッフ採用について、教育について相談
支部役員会	理事会報告 地区支部活動について	地区支部役員	7/26 9/15 10/20 12/2	7 名	
施設代表者会議	重点事業と日本看護協会の動向について	地区支部役員、施設代表者	3/24	10 名	

【Ⅲ.今後の課題】

感染対策を通じ病院・施設間の格差をなくせるような研修開催の方法を考えていく必要がある

那賀地区支部

支部長： 岡田 樹美

【Ⅰ.活動目標】

1. 研修会および支部活動を通じて地域全体における看護の質向上を目指し、地域連携に貢献する
2. 地域住民の健康増進のための活動を行う。

【Ⅱ.活動内容】

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	啓発活動 感染対策グッズ配布（メッセージ付）	地域住民	5月9日 （日） ～1週間	役員 2名	地域保健所・病院・保育園・店舗等の協力を得た。
地区支部集会 第1回研修会	令和3年度事業報告 ーチャレンジ Web 研修ー テーマ：新型コロナウイルス対策 講師：永崎 昌枝 那賀病院 感染管理認定看護師	会員 非会員	7月10日 （土） 13：30～ 15：00	52名	参加者の興味関心が高く、実践への活用の参考になったとの意見が多く聞かれた。
老人看護 月間事業	出前健康チェック 体重・身長・体脂肪・骨密度測定等予定	地域住民	10月		紀の川市文化祭に参加予定 感染拡大にて中止
第2回研修会	テーマ：レジリエンス ー予測不能な時代に必要 なしなやかなこころー 講師：江口智子 （ナースナレッジ代表）	会員 非会員	11月20日 （土） 13：30～ 15：00	39名	7月研修後アンケートにおいて、職員が元気になる研修を希望する意見もあり開催した。研修参加者からはしなやかなこころに向けたヒントがもらえたとの意見が多く聞かれた。
支部役員会	4月（中止） 9月 3月 研修会および施設代表者 会議終了後の合計6回	役員	4月30日 5月26日 7月3日 10月15日 2月22日	のべ15名	
施設代表者 会議	看護協会長より報告等	施設代表者	3月9日	8名	

【Ⅲ.今後の課題】

1. 社会状況・地域ニーズに合わせた適切で柔軟な地区活動継続による地域住民の健康推進
2. 社会状況・地域ニーズに合わせた適切で柔軟な地区活動継続による会員研修の充実

和歌山地区支部

支部長：芝瀧 ひろみ

【Ⅰ.活動目標】

1. 地区支部活動を通して、地域住民の看護協会への理解を深める
2. 地区支部会員に対して、必要な情報を提供する
3. 地区支部会員に対して、看護実践の現場に生かせる研修会を実施する

【Ⅱ.活動内容】

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護の日事業		地域住民			中止
第1回研修会		会員 非会員			中止
老年看護月間事業 1日まちの保健室	骨密度測定 血流測定 物忘れチェック 健康・介護相談	地域住民			中止
第2回研修会	「見直そう！感染対策」 太田 岳志先生 和歌山労災病院 感染管理認定看護師	会員 非会員	11月6日（土）	52名	過剰な感染対策をせずに本当に必要な予防策をきちんと行うための内容と、COVID-19関連について学んだ。参加者からは「感染対策についてわかりやすかった」「コロナのこともよく理解できた」「まだコロナが終息したわけではないので参考になった」など意見があった。参加者の95%が職場で活用できる・できそうだと回答した。
支部役員会	理事会報告 支部活動計画・評価	役員	6回	6名	
施設代表者会議	日本看護協会の動向 和歌山県看護協会事業報告等	施設代表者	3月25日（金）	27名	

【Ⅲ.今後の課題】

1. 活動を通して地域住民の健康保持増進に努めるとともに看護協会活動を周知する。
2. 地区支部会員に限らず他職種や非会員も研修への参加を働きかけ、連携を深めるとともに地域の看護の質向上につとめる。

海南・海草地区支部

支部長： 清水 多津子

【Ⅰ.活動目標】

魅力的な研修会を企画し、会員・非会員に参加を呼びかけ、地域の看護の質の向上を目指すとともに
会員数の増加を図る

【Ⅱ.活動内容】

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者 数	その他（参加者の反響・主 催者の感想）
1日まちの 保健室	骨盤体操 看護の日のアピール	地域 住民	令和3年 5月15日 海南 nobinos		新型コロナウイルス感染症対策のため中止
第1回 地区支部研修会	講演「排泄について」 講師 恵友病院 小川隆俊先生 実践発表 3名	会員 非会員	令和3年 6月19日 看護研修 センター	74名	
令和3年度 地区支部集会	令和2年度活動報告 令和3年度事業計画報告	会員	令和3年 6月19日 看護研修 センター		
老人看護 月間事業	未定	地域 住民	未定		新型コロナウイルス感染症対策のため中止
第2回 地区支部研修会	未定	会員 非会員	未定		新型コロナウイルス感染症対策のため中止
地区支部役員会	理事会報告 支部活動計画 活動評価	役員	令和3年 4月21日 8月25日 9月30日 令和4年 1月21日		
施設代表者 会議	日本看護協会の動向、和歌山県看護協会の事業報告、施設からの要望等	施設 代表者	令和4年 3月8日	12名	

【Ⅲ.今後の課題】

1. 時勢を踏まえ、地域住民と会員のニーズに対し、期待に応えられる活動を計画・実施していく

有田地区支部

支部長：小原 喜代子

【Ⅰ.活動目標】

1. 看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への認知、理解を深める。
2. 広報活動等により新会員の増加に努める。

【Ⅱ.活動内容】

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	新型コロナウイルスのため中止				
老人看護月間事業	新型コロナウイルスのため中止				
第1回研修会	ZOOM 研修 ストレスとセルフケア —自分のことを大切に する時間を持つ— 和歌山県立こころの医療センター 臨床心理士/公認心理師 福井 麻由先生	会員	7月10日 (土)	51名	新型コロナウイルス感染症により、日常業務が多忙になっている。その上に自粛や行動制限等により、ストレス解消が困難になっている。今回、自己のストレスについて知り、ストレス解消に有効なリラクゼーション等の実演もあり、今後に活かせる研修であった。
第2回研修会	看護研究・看護実践紙面発表	会員	令和4年 2月		発表会を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、抄録（集録）とパワーポイントの掲載した冊子の配布とした。
支部役員会	理事会報告 事業計画 現状情報交換	役員	7月10日 2回は誌面 会議		今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、参集の役員会が1回のみとなってしまった。
施設代表者会議	日本看護協会の動向 和歌山県看護協会からの報告・連絡等	役員 施設代表者	令和4年 3月22日	8名	

【Ⅲ.今後の課題】

1. 地域での多職種との連携を強化し、看護を通じて地域の医療・保健・福祉の向上
新型コロナウイルスの影響で、地域住民対象のイベントの計画が困難であり、代替え計画が必要
2. 看護の質向上を共にめざすことのできる会員の増加
3. 会員のニーズを捉えた、魅力ある研修会の実施
ZOOM 研修を取り入れる等、感染対策も重要

日高地区支部

支部長： 鳥淵 和美

【Ⅰ.活動目標】

1. 活動を通して、地域の保健・医療・福祉の連携を深め、地域住民とのつながりをひろげる。
2. 会員数の増加を目指し、看護の質向上をはかる。

【Ⅱ.活動内容】

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	「看護の日」PR グッズ配布	地域住民	5月15日 (土)	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
地区支部集会	・令和2年度事業報告 ・令和3年度事業計画	会員	7月17日 (土)	24名	
第1回研修会	・テーマ「ハラスメント」 ・講師 株式会社ケーエスケー監査・法務コンプライアンス担当 菊辻 英人先生	会員 非会員	7月17日 (土)	29名	事例の内容が具体的で分かりやすかった。 ハラスメントは日常的によく聞く言葉であるが、人それぞれの受け止めに注意が必要と理解したなどの意見がありました。
老人看護月間行事				中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
第2回研修会	・テーマ「現場でいかにスキンケア」 ・講師 認定看護師	会員 非会員	2月12日 (土)	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
役員会	4回	役員	8名		
施設代表者会議	日本看護協会の動向 和歌山県看護協会事業について 各施設代表者からの質問・要望	地区支部施設代表者	3月23日 (水)	9名	

【Ⅲ.今後の課題】

1. 支部活動を通して、地域住民の健康保持増進につとめる。
2. 研修会を企画するにあたり、多くの参加を働きかけ会員数の増加に努める。

田辺地区支部

支部長：廣井 啓子

【Ⅰ.活動目標】

1. 魅力ある研修会の企画及び、看護協会活動をアピールし、会員の増加に努める。
2. 地区支部活動を通じて、各施設の連携を深め地域の看護の質向上に努める。

【Ⅱ.活動内容】

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	看護の日のPR	地域住民	令和3年 5月15（土） 9時30分～ 11時 オーク ワパビリオン シティ田辺店	役員 5名 地 域 住 民 200 人 に 配 布	役員全員が、看護の日 Nursing Now のTシャツ を着用し、一人でも多くの方 が看護職に興味を持ち、目指 す人が増えるよう看護の日の PRを行い、グッズ、チラシ を配布した。
地区支部報告会	令和2年度事業報告 令和3年度事業計画 新役員紹介	会員	令和3年7月 3日（土） 13時30分～ 13時50分	59名	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため、報告会、研修会 をWEBで開催した。 研修会は、人生の最終段階に おける医療やケアについてと てもわかりやすく講演してい ていただきました。
第1回研修会	テーマ『ACPへの 取り組み』 講師：紀南病院 副看護部長兼がん 診療連携センター 副センター長がん 化学療法看護認定 看護師 岡地 美代	会員 非会員	令和3年7月 3日（土） 14時～15時		
老人看護 月間事業	血圧測定 体脂肪測定 健康相談	地域 住民	令和3年10 月16日 （土） 9時～12時 紀采柑		新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止
第2回研修会	研究発表会	会員 非会員	令和4年 3月5（土） 13時30分～ 14時30分		新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止
役員会	理事会報告・支部 運営に関する検討	役員	5月14日 7月3日 11月17日 3月16日	7名	
施設代表者 会		会員	令和4年3月 16（水）14時 ～15時30分	12名	

【Ⅲ.今後の課題】

1. 地区支部活動を通じて連携を深め、会員の増加に努める。
2. 他職種との連携を図り、地区支部活動を通し地域住民への健康保持増進に努めていく。

新宮・串本地区支部

支部長：栗原 久美子

【Ⅰ.活動目標】

1. 地区支部活動通じて各施設の連携を深め、地域の看護の質向上に努める。
2. 地区支部研修会の充実を図り、会員増に繋げる。

【Ⅱ.活動内容】

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	血圧測定・体脂肪測定・健康相談等	地域住民	5/8（土）予定		コロナウイルス感染拡大に伴い、中止
老人看護月間事業	血圧測定・体脂肪測定・健康相談等	地域住民	11月予定		コロナウイルス感染拡大に伴い、中止
第1回研修会	新宮市立医療センター感染管理室 感染管理認定看護師 二河 良成先生 「新型コロナ感染症の院内・施設等における感染管理」	会員	12/18（土）	43人	コロナ感染症患者を受け入れている病院在籍の感染管理者の講義であったため、院内感染発生時の対応や初動を効果的に行うことの大切さが理解でき有意義な情報を得られた。
支部役員会	理事会報告 地区支部事業運営	支部役員	8/23（火） 10/6（木） 12/26（月） 2/22（火）		
施設代表者会議	日本看護協会の動向、令和3年度事業経過報告等	施設代表者	3/11（金）	9名	

【Ⅲ.今後の課題】

1. コロナウイルス感染症拡大における研修会の方法の検討を行う。
2. 地区支部活動を通じて各施設の連携を深め、地域の看護の質向上に努める。
3. 地区支部活動を通じて連携を深め、新会員の増加に努める。

社会経済福祉委員会

委員長：竹中 武馬

【Ⅰ.活動目標】

1. 看護職がいきいきと働き続けられる職場作りを目指した働き方改革について考え、各職場で実践するための支援をおこなう。
2. 看護職への禁煙推進活動を継続する。

【Ⅱ.活動内容】

1. 今年度は、県内各病院におけるハラスメント対策等について調査をして、働きやすい職場の構築に向けた取組みをおこなった。
2. 委員会開催回数：6回
 - 1) 第1回社会経済福祉委員会開催（5月21日）
 - ・オリエンテーション
 - 2021年度の活動計画、活動目標、活動内容の確認
 - ・ハラスメントに関するアンケートの回収・集計を実施（検討内容・活動内容）
 - 2) 第2回社会経済福祉委員会開催（7月9日）
 - ・ハラスメントに関するアンケート調査の分析。
 - ・黒潮掲載記事の内容検討
 - 3) 第3回社会経済福祉委員会開催（9月10日）
 - ・施設代表者会での報告の資料作成（県内におけるハラスメント対策の現状）
 - ・黒潮掲載分の資料作成
 - ・次年度の活動計画の検討
 - 4) 第4回社会経済福祉委員会開催（10月8日）
 - ・施設代表者の調査報告書（県内におけるハラスメント対策の現状）の修正
 - ・施設代表者会にて「県内におけるハラスメント対策の現状」を発表
 - 参加者から「和歌山県の現状と先生（友納理緒氏）の講演とつながっていて、現状を知り対策に必要な知識を得ることができました。」などの意見があった
 - 5) 第5回社会経済福祉委員会開催（1月14日）
 - ・看護職の喫煙についての実態調査 アンケートについての内容検討
 - アンケートの対象・質問項目など
 - 6) 第6回社会経済福祉委員会開催（2月18日）
 - ・令和3年度の活動報告の作成
 - ・次年度の活動計画の作成（案）
 - ・看護職の喫煙についての実態調査 アンケートの作成
3. 看護職の禁煙推進活動
今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため全国禁煙アドバイザー育成講習会の実施も見送られるなど、看護職の禁煙対策についての活動は実施できなかった。

【Ⅲ.今後の課題】

看護職への禁煙推進活動を継続し、少しでも看護職の喫煙率を減少するための取り組みが必要である。
次年度の活動で看護職の喫煙についての実態調査を実施予定。

教育委員会

委員長：久保 乃英

【Ⅰ. 活動目標】

1. 看護専門職としての生涯学習を支援し、変容する地域・社会のニーズに応え、質の高い看護実践能力を養うために必要な教育研修の企画・立案・運営および評価を行う。

【Ⅱ. 活動内容】

1. 委員会開催回数：12回
 - 1) 研修の企画・運営・評価および立案
 - 2) 感染防止対策、Zoom を利用した研修会の運営方法についての検討
 - 3) 県下看護職を対象とした「県下看護職が有する学習ニーズ」に関する調査活動
2. 「新人を育成する教育」における 5 テーマに対して、看護研修センターにて 5 回開催した。
3. 「ジェネラリストを育成する教育」における 28 テーマに対して、看護研修センターにて 22 回、Big-U にて 6 回開催した。
4. 「管理者を育成する研修」における 7 テーマに対して、看護研修センターにて 6 回、Big-U にて 1 回開催した。
5. 「潜在看護職員復職支援研修」における看護技術指導担当を 2 回（看護研修センターにて 1 回、Big-U にて 1 回）開催した。
6. 「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を考慮し、各研修を開催した。
7. 令和 4 年度新人技術研修に使用するチェックリストの修正と物品の管理を行った。
8. 県下看護職が有する学習ニーズに関するアンケート調査を実施し、調査結果についての報告書を作成した。
9. まとめ

2022 年度の研修企画にあたり、令和 3 年度重点事業内容、過去数年間に開催してきた研修内容、2021 年度の研修受講者から得られたアンケート結果等を考慮し検討を重ねた。本年は「県下看護職が有する学習ニーズ」に関する調査を行った。調査結果は、研修テーマに関する要望の他、web 研修の拡大や臨地研修の開催など、研修開催方法に関する要望があった。2023 年度の研修企画にあたり、従来からの検討内容と、県下看護職の有する学習ニーズに関する調査の結果を加えてより多角的に検討することができるようになった。

研修運営について、Covid-19 感染症流行の影響を受け、当初予定していた開催方法から変更する状況（講師、研修生のリモート参加への変更等）がしばしばあった。「県下看護職が有する学習ニーズ」に関する調査では web 研修の開催機会の拡大に関するニーズが大きいという結果が得られた。その理由については感染対策だけにとどまらず、和歌山県の南北に長い地形や研修に参加しにくい就業状況による研修生の負担の大きさが一因であるとの調査結果が得られた。今後の課題として、web 研修の機会拡大とあわせて web 研修開催におけるよりよい体制の整備をすすめることと考えた。

本年度に実施した県下看護職が有する学習ニーズに関する調査では回答者が 627 名であった。回答者の属性の内訳を分析すると県下看護職全体が有する属性の割合と比較し偏りがあった。本調査結果を受けより県下看護職の学習ニーズを反映できる調査方法について検討した上で調査を重ねる必要がある。

【Ⅲ. 今後の課題】

1. 県下看護職の学習ニーズにあった研修（web、臨地研修など）開催についての検討
2. 新しい研修方式（web 研修など）の開催におけるよりよい体制の整備
3. 県下看護職の学習ニーズについての把握

広報委員会

委員長：川口 佳代

【Ⅰ. 活動目標】

1. 和歌山県看護協会の動向、最新の情報をタイムリーに提供
2. 読者参加型の会報誌づくり
3. 会員サービスの充実・向上のための広報活動

【Ⅱ. 活動内容】

1. 原稿依頼の都合のため、当初予定していた 8 月の会議開催が中止となり開催予定を変更した。年間 7 回の会議を開催した。
2. 和歌山県看護協会会報「黒潮」を 4 回発行した。(第 155 号～158 号)
3. 和歌山県看護協会の動き、「地域連携のコーナー」、「訪問看護ステーションだより」、「医療安全数珠つなぎ」などのコーナーを継続した。
4. 「感染管理認定看護師による感染管理」についてのトピックスを 1 年間（合計 3 回）のシリーズ化で掲載した。
5. 表紙写真を My hospital 掲載施設に依頼した。
6. 全体的により見やすい紙面作りに努めた。

【Ⅲ. 今後の課題】

1. 「黒潮」がより読者参加型の紙面となるよう、意見・要望を広く読者の方に求めたい。方法として、プレゼントコーナーのアンケート部分に、今後紙面に掲載して欲しい内容等を記載していただくことも検討していきたい。
2. 和歌山県看護協会の更なる充実・発展のためには、会員数の維持・獲得は大きな課題である。方法として「黒潮」やホームページで、協会の魅力や取り組みをアピールしたい。
3. 紙面の内容をより読者が興味を持てるよう検討していきたい。
 - ・特定分野について 3 回（1 年間）シリーズでの掲載を継続し、知識を深めるために活用していきたい。
 - ・各病院や施設の取り組んでいる最新の情報を記載依頼するなどの取り組みを行いたい。

看護研究学会委員会

委員長：森口 奈美

【Ⅰ.活動目標】

看護研究学会の円滑な運営に向けての準備、調整を行う

【Ⅱ.活動内容】

1. 委員会回数 12回
2. 看護研究学会日程：令和4年2月5日（土）
場所：公益社団法人 和歌山県看護協会 大ホール
参加者：201名（会場参加20名 Web参加181名）
3. 看護研究学会のテーマの検討
本年は【災害への備え】をテーマに特別講演・シンポジウムを企画した。それにあわせて学会テーマを【いのちとくらしに寄り添う看護－災害の「想定外」にどう備えるか－】とした。
4. 特別講演内容および講師選定
参加者に災害への備えについて学びを深めてもらうため特別講演を企画した。兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 所長・教授 増野園恵先生に「災害時における看護のリーダーシップとストレスマネジメント」をテーマに講演いただいた。
5. シンポジウム内容および講師選定
シンポジウムは、「自然災害の経験から得た備えと対策」をテーマとして、幹在宅看護センター 統括管理者 和田聖子先生、前新宮医療センター看護部長 杉山文栄先生、和歌山県災害対策課 課長 片家康裕先生にそれぞれの立場から講演いただいた。
6. 学会開催方法の検討
コロナ禍での開催方法について検討を行い、今年度も会場を和歌山県看護協会大ホールとした。感染拡大防止のため会場人数を制限し、会場とWeb配信によるハイブリット開催で企画した。直前に急激な感染拡大となったため、発表者以外の参加者は、自施設もしくは個人視聴でのWeb参加とした。特別講演の講師や一部の口演座長も、Webでの参加となった。示説発表は企画しなかった。アンケート方法はQRコードから回答できるようにした。
7. 学会プログラムの検討および作成、使用研修室の検討
看護協会大ホールとWeb開催を企画していたため、会場での参加者が密にならないよう、会場設営を考え検討した。直前に余儀なく運営方法の変更が必要となったため、サテライト室の使用はなしとした。
8. 査読者決定および査読結果の送付
発表演題数は、口演14題の応募があり、査読を通して演題発表に至った。
9. 抄録集の検討および作成、印刷依頼
抄録原稿について、本年度も2段組みの様式とした。見出しに色紙を使用し、見やすくなるよう工夫した。
10. 運営のしおりの検討および作成
運営のしおりは、和歌山県看護協会大ホールとWeb参加を併用したハイブリット開催用で作成した。

【Ⅲ.今後の課題】

参加者からのアンケート結果は、テーマ、特別講演、シンポジウム、口演に対しては、「とても満足」「満足」への回答が多かった。音声トラブルに関する意見が多かった。設備や機材の充実が図られているが、Web開催に必要な専門的知識や技術を持っていないため、専門業者と事前打合せを綿密に行うとともに、「Web運用マニュアル」の整備を要望していく必要である。また、Webでの開催は、COVIDの感染拡大による制限がなくなっても継続してほしいという意見もあった。学会開催について、今後も円滑な運営方法について検討を重ねていく。
Webでの学会参加を継続する場合、プライバシーに対する配慮や入室許可の待機時間短縮など、運用方法の検討を重ねていく。

医療安全対策委員会

委員長：西 あづさ

【Ⅰ.活動目標】

1. 医療安全管理者の養成
2. 医療安全管理者養成研修修了者のスキルアップ
3. 医療安全に対する意識の向上を推進

【Ⅱ.活動内容】

1. 委員会開催回数：6回
2. 医療安全管理者養成研修の開催
日本看護協会主催の医療安全管理者養成研修に伴う集合研修の協力
令和3年12月10日（金）
テーマ「安全文化の醸成」
講師 中山 美代子氏 和歌山県立医科大学附属病院 医療安全推進部次長
3. 医療安全管理者養成研修修了者に対するフォローアップ研修の開催
令和4年1月14日（金）
テーマ「前向きな医療安全管理への転換 ～医療安全へのポジティブアプローチ」
講師 辰巳 陽一氏 近畿大学附属病院 病院長補佐 医療安全対策室長
4. 和歌山県看護協会主催の医療安全研修を3回実施。

開催月日	担当講師	研修会名
令和3年6月7日	長谷川 剛	医療安全とエンジニアリング
令和3年9月14日	楠本 茂雅	自部署で役立つ医療安全
令和3年10月15日	宮崎 浩彰	医療安全 チーム STEPPS

5. 医療安全に対する意識の向上を推進
和歌山県看護協会ホームページ「医療安全情報」に各医療機関における医療安全への取り組みを掲載、
令和3年度は4回更新した（平成26年より27回更新）

掲載月日	施設名	テーマ
令和3年4月1日	新宮市立医療センター	コロナ禍の中、病院間における医療相互チェック （リモート会議でつないだ医療安全対策地域連携）
令和3年8月1日	貴志川リハビリテーション病院	病院内ラウンドを取り入れた医療安全の取り組み
令和3年11月1日	中谷病院	品質管理システムを取り入れた 当院の医療安全の取り組み
令和4年3月1日	琴の浦リハビリテーションセンター	リハビリテーション医療における安全管理 ～誤嚥予防の対策について～

【Ⅲ.今後の課題】

1. 日本看護協会主催の医療安全管理者養成研修の協力
2. 和歌山県看護協会主催の医療安全研修を実施し、医療安全に対する基本的知識・技術を向上させる
3. 医療安全文化の醸成を図るために看護管理者に対する研修を実施する

災害看護対策委員会

委員長：向 友代

【Ⅰ.活動目標】

1. 災害支援ナースの育成と登録推進の継続
2. 災害発生時派遣システムの構築
3. 災害物品の管理

【Ⅱ.活動内容】

1. 委員会開催回数（計7回）
2. 災害支援ナースの育成と登録推進の継続
 - 1) 研修：
 - ① 日時：7月26日、7月27日
テーマ：災害看護 JNA 収録 DVD 研修 災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～
講師：DVD 研修 参加者数：25 名
 - ② 日時：9月18日、9月19日
テーマ：災害看護Ⅱ ～今、考えよう！巨大地震への備え～
講師：山崎 達枝氏 長岡崇徳大学 災害看護/国際看護学 准教授
場所：看護研修センター 参加者数：25 名
 - ③ 日時：11月29日
テーマ：災害フォローアップ研修～日常と災害をつなぐパラレルな活動を目指して～
講師：黒澤 和子氏 東京都看護協会所属、Hospitality Support 和心 代表
場所：看護研修センター 参加者数：22 名
 - ④ 日時：6月19日
テーマ：管理者研修～平時から備える災害時の思考やマネジメントについて～
講師：黒澤 和子氏 東京都看護協会所属、Hospitality Support 和心 代表
場所：看護研修センター 参加者数：15 名
 - 2) 災害支援ナース登録者数 令和3年12月15日時点：147 名
3. 災害発生時派遣システムの構築
 - 1) 災害看護支援マニュアルの見直し
 - ① 日看協災害合同訓練 日時：11月9・10・11日
 - ② 和歌山県内災害支援ナース派遣訓練 日時：1月21日
災害看護支援マニュアルを活用した災害支援訓練の実施及びマニュアルの見直し
4. 災害物品の管理
 - 1) 災害携行物品保管場所の整備
看護協会職員が災害時、スムーズに貸し出し手続きが行えるよう書類の準備及び配置図を作成
 - 2) 災害携行物品の定期点検
携行物品の管理チェック ⇒ 5回/年実施

【Ⅲ.今後の課題】

1. 災害支援ナースの育成と登録推進の継続：管理者研修の実施による災害支援ナースの育成推進
2. 災害発生時派遣システムの再構築：県内発生の災害を想定した訓練より評価及び修正
3. 災害物品の管理：運用方法の共有

まちの保健室運営委員会

委員長：藤原 昌子

【Ⅰ.活動目標】

1. 「まちの保健室」開催の定着化を図り、地域住民の健康意識と看護協会活動の理解を高める。
2. 地域住民の生活習慣見直しのきっかけづくりや改善に向けての支援ができる。
3. 高校、短大や看護の日のイベント等での開催を通じて、看護への関心を高め人材育成につなげる。

【Ⅱ.活動内容】

1. 委員会開催回数：6回予定のところ実施は3回となった。（原則）13：30～17：00
 - 1) 「まちの保健室」・「健康チェック事業」アンケート集計と反省
 - 2) 次回開催計画
 - 3) 要望や意見の検討
2. 「まちの保健室」・「健康チェック事業」予定開催回数：7回 実績：0回
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、活動実施できず中止しました。
3. まとめ
令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定していた活動はすべて中止となった。現在、新型コロナウイルス感染者数は減少してきてはいるが、令和4年度は感染対策を徹底したうえで活動が行えるようにしていく。

【Ⅲ.今後の課題】

1. 新型コロナウイルス感染拡大を防止したうえで、安全な活動の実施。
2. 新しい生活様式に沿った活動内容を検討し、実施する。
3. 次年度も高校や短大での開催を計画し看護への関心を高めることで人材育成につなげていく。

ナースセンター事業推進委員会

委員長：亀井 美都子

【Ⅰ.活動目標】

ナースセンター事業（看護職員の就業促進と確保及び離職防止対策のため、県行政やハローワーク等との連携を密にし、再就業者の増加を図ると共に、看護職員の資質の向上を図る）の企画・運営に協力する。

【Ⅱ.活動内容】

1. ナースセンター事業推進委員会の開催
年 5 回 （うち 1 回書面会議）
2. 再就業促進研修会（ナースの輝く人生応援交流会）の開催
11 月 9 日（火）10 名参加（対面 7 名、Web 視聴 3 名）
3. 「看護の日」の記念事業（ナースデイフェスタ和歌山）に開催
5 月 1 日（土）45 名参加（高校生 35 名、一般・医療職 10 名）
4. ナースセンター事業の活性化及び就業促進
 - 1) 未就業看護職員の再就業促進と登録推奨
 - ① 求職者と求人施設にナースセンターの周知促進とナースセンターが運営する無料の求人求職サイト（e ナースセンター）への登録推奨 443 件
 - ② 看護職に届出制度（とどけるん）の周知促進と登録推奨 223 件 総数 1261 件
 - 2) 看護に関心のある対象者に看護についての情報を提供
就職説明会年 2 回 →中止
 - 3) 求職者と求人施設の動向を知り、きめ細やかな対応と連絡調整
施設訪問 →中止
 - 4) ハローワークに於いて「ナースのお仕事相談」への協力
45 回開催 40 人（実数 38 人） 就業者数 実数 20 人
5. その他関連事業に協力参加
まちの保健室 →中止

【Ⅲ.今後の課題】

1. ナースセンター事業の普及及び啓発
2. 相談窓口の充実
3. 潜在看護職員の届出制度の普及及び啓発

認定看護管理者教育運営委員会

委員長：小松 香世美

【Ⅰ.活動目標】

1. 認定看護管理者教育課程（ファーストレベル・セカンドレベル）の実施および改善のための検討をおこない、教育課程の充実と推進を図る。円滑な研修の運営をおこない、評価を行い次年度に活かす。

【Ⅱ.活動内容】

1. 委員会開催回数：7回（うち1回は閉講式と同日に開催した）
 - 1) 認定看護管理者教育課程開講式および閉講式運営4回
 - 2) 認定看護管理者教育課程（ファースト・セカンドレベル）開催について、講義は大ホールで、机1台に受講者1名とし、受講生は検温、マスクの着用、公開講座は行わないとした。
状況により対面、遠隔講義の双方の可能性がある為、オンライン環境はzoomを使用した。
各自wi-fi環境を整えておくようオリエンテーションし、開講式にzoom操作を確認した。
 - 3) 認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）の受講者募集、受講者決定、カリキュラム改定に伴う研修内容の詳細検討、修了者の確定。新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年度の開催が中止となったこともあり、応募者数が76名と例年になく多数の応募となった。選考基準を基に上限枠55名の受講を決定した。その後、自己都合により1名が受講を辞退した。今年度は講師1名がオンライン講義となった。欠席・遅参やzoomによる在宅での受講はあったが出席時間は確保され、全受講生54名の修了を認定した。
 - 4) 認定看護管理者教育課程（セカンドレベル）の受講者募集、受講者決定、新型コロナウイルス感染拡大に伴う教育機関における授業形態の変更に関する研修開催方法の詳細検討、カリキュラム改定に伴う研修内容の検討、修了者の確定。19名の応募があり、19名の受講を決定した。
今年度は4名の講師がオンライン講義となった。うち1回は講師の希望により個別パソコン（在宅）での受講となった。受講者全員をパソコン画面一覧表示で確認し時間数の承認をした。
欠席・早退・遅参はあったが出席時間は確保され、全受講生19名の修了を認定した。
 - 5) 令和2年度セカンドレベル修了者の看護管理実践報告会運営
 - 6) 令和3年度研修評価、令和4年度ファーストレベル・セカンドレベルの学習要項、講師の選定
2. 令和3年度認定看護管理者教育課程ファースト・セカンドレベルの開催
日時：令和3年6月11日(金)～12月1日(水)
場所：和歌山県看護研修センター 参加者数 ファーストレベル：54名 セカンドレベル：19名
3. 令和2年度セカンドレベル教育課程修了者による看護管理実践報告会
日時：令和4年4月9日(土) 13:30～16:30 開催予定
場所：和歌山県看護研修センター オンライン
4. まとめ
コロナ禍での開催であったがオンラインを取り入れながら、ファースト・セカンドレベルともに予定通り開催した。今回は講師による遠隔講義だけでなく受講者も在宅で受講する経験をした。また、オンラインによる研修のスムーズな運営に重点を置くため公開講座の募集は中止した。その後の活動計画についても、受講形態や研修開催の方法等を委員会で検討しながら運営し、評価を令和4年度学習要項に反映したため、概ね目標は達成されたと考える。委員会では、先の見えない現状の中で、効果的な研修とするためにどうしていくかを議論することが多くあった。

【Ⅲ.今後の課題】

1. 認定看護管理者教育課程運営の注意事項に沿って検討
 - 1) 受講者選定方法の見直し
2. 認定看護管理者教育過程研修に関わる支援者に対するオリエンテーション内容の検討。

認定看護師フォローアップ委員会

委員長：日置 真弓

【Ⅰ.活動目標】

1. 和歌山県内に在籍する認定看護師・和歌山県看護協会救急看護認定看護師教育課程修了生が、認定看護師として自律して日々の活動が実践できるよう支援する

【Ⅱ.活動内容】

1. 委員会開催回数：4回
 - 1) 認定看護師フォローアップ研修の企画
 - 2) 認定看護師フォローアップ研修の準備及び次年度の企画検討
 - 3) 活動評価及び次年度の研修会の企画
2. 認定看護師フォローアップ研修
日時：9月20日（月）13時～17時
テーマ：「和歌山県における COVID-19 への対応と今後の課題」
講師：中 大輔氏 日本赤十字社和歌山医療センター 神経救急部部長 院長補佐
太田 かおり氏 和歌山労災病院 感染管理認定看護師
保脇 佳奈恵氏 済生会和歌山病院 救急看護認定看護師
亀井 里奈氏 紀州リハビリケア訪問看護ステーション
場所：看護研修センター
参加者：58人

【Ⅲ.今後の課題】

1. 和歌山県内の認定看護師が、分野を超えてネットワークを作ることができる
2. 認定看護師として自律して活動できるように、情報共有や問題解決の場をつくる必要がある

和歌山認定看護管理者会

委員長：仲澤 妙美

【Ⅰ.活動目標】

1. 県内において、質の高い組織的看護サービスの提供を目指すために看護管理者を支援する。
2. 県内の認定看護管理者間の交流を深め、ネットワークを活かし活動を活性化する。

【Ⅱ.活動内容】

1. 認定看護管理者会議：4回
2. 和歌山認定看護管理者会による出前講義7回（昨年度4回）（1回は次年度に延期）

1) 実施施設：5施設

＊同テーマ同施設からの依頼、サードレベル研修修了者がいる施設からの依頼については、自施設での講師選定を推奨している。

2) 対象者：役職者（看護師長、副看護師長、主任、係長など）人数：5人～20人

3) テーマ

テーマ	組織論	組織分析	看護倫理	診療報酬	安全管理	看護の質	人材育成	労務管理
施設数	1	1	1	0	0	1	2	1

4) 評価：

- ① コロナ禍において発生状況を鑑みながら実施した。出前講義は委員会の活動方針として、申込み依頼があれば、可能な限り対応するという姿勢で調整できた。
 - ② 昨年度と同様、年間の依頼件数は少なめであるが、申し込みが中小規模であり、毎年、看護管理者の交代があることより、出前講義を存続させる必要性を感じている。
 - ③ 出前講義の内容について、認定看護管理者カリキュラムの改正を鑑みて見直しを行い、各施設に年度途中に配信した。
 - ④ アンケート結果について委員会へ報告されず評価出来なかった。集計確認と委員会へのフィードバックが確実に出来るようシステムを検討する。
3. よろず相談による看護管理者への支援
業務研究会で実施したアンケート調査結果では、よろず相談の利用希望が91%あったが実際の相談依頼は少ない。次年度、業務研究会で「よろず相談」に関する説明の機会を設けたり、看護協会の会報に掲載するなど知名度を高める方策を講じる。
 4. 認定看護管理者交流会の開催：令和4年1月15日（土）10:00～12:00 参加者28名
管理者の役割である経営参画について、WEB開催で「看護管理者と病院経営」というテーマで、坂本すが先生にご講演いただき、CNAの資格維持に必要なポイントも付与できた。

【Ⅲ.今後の課題】

1. 看護管理者への支援体制の工夫
 - 1) 出前講義：新任看護管理者を中心に中小規模施設に働きかける。
 - 2) 看護管理者の個別支援「よろず相談」について、広報の機会を拡げることで、相談依頼件数を増やす。
2. 認定看護管理者交流会
今年度実施したアンケートを参考に、認定看護管理者のニーズが充たせ、活動目標に即した内容の企画等含め、交流会の在り方を検討する。

令和 4 年度 重点事業

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向け、「効率かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアの構築」が急務の課題となってきました。また、中長期的な人口減少・高齢化の進行を見据えつつ、今般の新型コロナウイルス感染症への対応により顕在化した地域医療への課題を含め、地域の実情に応じた質の高率的な医療体制を構築することが求められています。

和歌山県でも地域包括ケアシステム構築が推進されるなか、「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換が進み看護職の活躍の場は広がっていますが、どのような場においても看護職は、適切な保健・医療・福祉を提供し、人々の生活の質が高まるように機能しなければなりません。

県民誰もが、「住み慣れた地域で安心して適切な医療を受けられる社会」を実現するためには、看護職を軸とした多職種連携が、今後ますます必要になってきます。

和歌山県看護協会においても、このような現状や課題をしっかりと認識し、定款 4 条にそって、本協会の理念である「県民の健康な生活の実現」を目指して ①看護の質の向上、②看護職がいきいきと働き続けられる環境づくり、③看護領域の開発・展開を使命に掲げています。

今年度も、公益社団法人として、全ての県民の期待に応じられる看護の実現をめざして、看護職の育成及び質的向上、人材確保の実現をめざして使命・活動理念を軸に、次の 6 項目を重点事業として掲げ、活動を展開してまいります。

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進
3. 県民の健康な生活の実現の推進
4. 地域包括ケアシステムの構築と推進
5. 保健師活動の体制整備と機能強化
6. 助産実践能力強化とその体制整備

重点事業

1. 看護実践能力及び専門性の強化

看護職は、生涯にわたり自己の能力開発に努め、看護の質の向上を図ることが責務です。

看護専門職能団体としての役割として、生涯教育を支援し、看護の質の向上を図ることは、協会事業の柱でもあります。

今年度も、看護職一人ひとりが自己研鑽して看護の力を発揮できるよう、教育計画に基づいて新人看護職員研修をはじめ、看護職のキャリア開発支援を推進し、看護実践能力の強化に努めます。

2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向け、生涯にわたる活躍が期待される時代となり人材確保は喫緊の課題です。

わが国における医療提供体制は、これからの超高齢社会への対策として、「病院完結型」から「地域完結型」へと転換が進められており、超高齢社会では"病気とともに暮らす人"を地域で支えることとなります。このような社会の変化に対応していくために、2018 年日本看護協会は、「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場をめざして）～」を公表しました。看護職が仕事とバランスの良い調和を実現させ長く働き続けるためには、働き方を選択できることが必要です。働き続けられる職場づくりを支援し普及を進めます。

また、身近な場所で、離職者の届出の促進と就労相談を、ハローワークと連携し「ナースのお仕事相談」を月 4 回開催するとともに、ナースセンターを看護職の確保・定着の総合拠点としての役割を図ってまいります。さらに、看護職が離職等の際に都道府県ナースセンターに届出ることの推進に努めます。

今後も看護職の働く環境が改善できるよう、行政、労働局、ハローワーク等、各関係団体と連携を強化して、働き続けられる環境づくりの推進に努めます。

3. 県民の健康な生活の実現の推進

看護研修センターを拠点に「県民の健康な生活」の実現に向けて、看護週間や老人月間、「まちの保健室」等を開催し、県民の健康増進に努めます。また、地区支部と連携を図り、地区支部活動を支援し積極的に推進してまいります。同時に、和歌山県看護協会への理解を深めて頂くために、様々な機会を捉えて情報発信に努めてまいります。

今年度も、行政や関連団体と連携しながら事業を推進してまいります。

4. 地域包括ケアシステムの構築と推進

少子高齢化が進む中、「治す医療」から「治し支える医療」へと移行しており看護職の役割も大きく変わってまいります。また、要介護高齢者や認知症者の増加等により、介護・福祉施設や在宅療養の場における看護職への期待もさらに大きくなっています。

和歌山県は、高齢化も全国を上回る速さで進行し、令和3年1月1日現在全国第9位で超高齢社会を迎えています。

看護協会では、在宅領域のネットワークづくりや、人材の確保・育成及び看護の質向上に向けて和歌山県の受託事業として「退院支援看護師研修」、「訪問看護入門研修」、「保健師研修（中堅期）」「認知症対応力研修」を実施してまいります。

今年度も看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）、Ⅱ（在宅領域）、和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会、行政及び関係機関等と連携しながら在宅看護、介護施設の看護の機能を強化し、療養を支える訪問看護・介護領域における看護の質の向上並びに人材確保に努めてまいります。

5. 保健師活動の体制整備と機能強化

保健師は個人及び地域全体の健康増進や疾病予防を図るため、平成 25 年 4 月に示された保健師活動指針に基づき保健活動を推進していく役割があります。

生活習慣病予防や身体機能の維持向上を図り、健康寿命の延伸に向けた取り組みや、住み慣れた地域でその人らしく暮らしていける地域包括ケアシステムを推進してまいります。

保健師職能委員会では、これらを実現していくために、今年度においても、職能集会、保健師交流会等を実施し、保健師の専門的な知識や技術の向上，保健医療福祉介護等の重層的連携体制の構築に取り組み、保健師職能の組織力アップに努めてまいります。

6. 助産実践能力強化とその体制整備

助産習熟段階（クリニカルラダー：CLoCMiP）に基づき助産実践能力強化支援のため、研修会を企画運営していきます。

そして、切れ目のない妊娠・出産・子育て支援を図るため、地域との連携体制の推進、各医療機関における「母子のための地域包括ケア病棟」の開設・運営が推進されるよう情報提供に努めてまいります。

また、今年度においても、職能集会、助産師研修会等を継続し、専門性の強化と連携体制整備に努めてまいります。

令和 4 年度 事業計画

事業計画は、定款 4 条の 6 つの事業に沿って掲載

- (1) 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
- (2) 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- (3) 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業
- (4) 地域ケアサービスの推進に関する事業
- (5) 日本看護協会との協力及び連携に関する事業
- (6) その他本会の目的達成のために必要な事業

- ・ 二重下線は重点事業
- ・ 下線は新規事業

I. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

1. 看護教育に関する事業

1) 教育計画の企画・実施・評価 (日本看護協会の研修分類で表示する)

	分類	内容
1	「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	1)新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 2)政策提言に向けた研修 3)診療報酬に関連した研修
2	ラダーと連動した継続教育	1)「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)」(CLoCMiP®) 2)「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」(JNA ラダー)
3	看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	1)看護管理者を対象とした研修 2)認定看護管理者を対象とした研修 3)これからの看護管理者を担う人々を対象とした研修
4	専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	1)施設内教育における JNA ラダー活用のための研修 2)都道府県看護協会の教育担当者・教育委員対象研修
5	資格認定教育	1)認定看護管理者教育課程 2)認定看護師教育課程

分類 1 : 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

(1) 県受託事業 9 コース

病院勤務以外の看護師等に対する認知症対応力向上研修 (県受託事業)

(2) 各職能委員会研修会 12 コース

分類 2 : ラダーと連動した継続教育

(1) 新人教育 5 コース

(2) ジェネラリストを育成する教育 34 コース (医療安全・災害看護を含む)

分類 3 : 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

(1) 管理者を育成する教育 8 コース

(2) 認定看護管理者交流会

(3) 「看護管理」に関する出前講座

分類 4 : 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

- (1) 和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会開催（県受託事業）
- (2) 新人看護職員実地指導者研修（県受託事業）
- (3) JNA ラダー活用のための研修会
- (4) 認定看護師フォローアップ研修会

分類5：資格認定教育

- (1) ファーストレベル教育課程
- (2) セカンドレベル教育課程
- (3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者の看護管理実践報告会

その他：日本看護協会主催 医療安全管理者養成研修

2. 学会等学術振興に関する事業

- 1) 令和4年度和歌山県看護研究学会

開催日：令和5年2月4日（土）

開催場所：看護研修センター

3. 図書室の運営に関する事業

- 1) 図書・雑誌等の購入及び図書利用の促進
現場の状況に応じた図書購入を予定する
- 2) 最新看護索引 web 機関版の利用促進
- 3) 「医中誌」の利用促進

4. 災害時の看護支援活動事業

- 1) 災害支援ナースの育成及び登録の推進
 - (1) 災害看護に関する研修
 - (2) 災害支援ナースの登録推進
 - (3) 災害支援ナースの活動支援
 - (4) 災害看護マニュアルの改訂
- 2) 災害支援ナース派遣調整訓練
- 3) 近畿地区看護協会災害支援に関しての会議への参画
- 4) 和歌山県・市等行政との連携
 - (1) 地域災害支援看護師養成研修事業（県受託事業）
 - (2) 和歌山県・市等への防災会議への参画
 - (3) 和歌山県・市等への災害医療対策会議への参画
- 5) 和歌山県看護協会内の災害対策マニュアル作成

5. 医療安全の推進に関する事業

- 1) 医療安全に関する研修
医療安全に関する研修と医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修
日本看護協会主催の医療安全管理者養成研修（再掲）
- 2) 医療施設の医療安全情報をホームページに掲載
- 3) 医療安全に関する相談対応・情報提供
 - (1) 黒潮に掲載「医療安全数珠つなぎ」

Ⅱ．看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

1. 労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

1) 就業促進事業

(1) ハローワークとの連携

①ナースセンター サテライト開設（県受託事業）

（和歌山・田辺） 毎月各2回

②ナースセンター・ハローワーク連携事業

(2) 看護職等の離職時の届け出に関すること（とどけるん）

(3) ナースバンク事業

①ナースセンターだより（年4回）

②就職説明会

③「e ナースセンター」求職者新規登録

④「e ナースセンター」求人施設別登録

(4) 施設別・雇用形態別就業者数

(5) ナースセンター事業推進委員会

・再就業促進研修（ナースの輝く人生応援交流会）（県受託事業）

(6) 施設訪問の実施

離職防止対策事業

・「ナース相談窓口」

2) 看護職の健康管理

(1) 看護職のメンタルサポート

(2) 看護職の喫煙問題に関すること

3) 潜在看護職員復職支援強化研修事業

(1) ナースのお仕事相談（ハローワークとの連携）

(2) 潜在看護職員復職支援研修（県受託事業）

紀北、紀南

(3) 採血技術演習（第1・第3木曜日）

4) 和歌山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会等への参画

5) 看護職の働き方改革の推進

プラチナナースの活躍促進

2. 新型コロナウイルス感染症対策事業関係

1) 新型コロナウイルス感染症に係る保健所体制強化のための保健所支援業務

（県受託事業）

2) 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業における

(1) 「新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職員研修事業」

(2) 「新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談事業」

(3) 「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材調整事業 広域人材調整事業」

（日看協受託事業）

Ⅲ. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業

1. 三職能合同活動

- 1) 研修会 令和4年9月10日(土) 10:00～16:00
テーマ：地域共生社会実現にむけて
講師：金川 めぐみ氏(和歌山大学 経済学部 教授)
シンポジウム：各職能から

2. 保健師職能委員会活動

- 1) 職能集会
- 2) 保健師交流会
- 3) 組織強化への対策
(1) 「保健師職能だより」発行
- 4) 保健師活動指針の普及・活用

3. 助産師職能委員会活動

- 1) 助産師研修会
- 2) 職能集会
- 3) 助産師交流会

4 - 1. 看護師職能委員会Ⅰ活動

- 1) 病院領域における看護師の質向上のための研修会等の企画・実施
(1) 研修会の開催
 - ① 准看護師交流会
テーマ：医療安全と倫理
 - ② 男性看護師交流会
テーマ：男性看護師の労務管理
 - ③ 看護管理者研修
- 2) 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

4 - 2. 看護師職能委員会Ⅱ活動

- 1) 介護・福祉施設・在宅領域(診療所も含む)の看護の質の向上と連携について
 - ① 看護師職能Ⅱ研修会
テーマ：QOD クオリティ・オブ・デス ～生きることを支える看護を考える～
- 2) 地域包括ケアシステムの推進に向けたネットワークづくりについて
 - ① 訪問看護連絡協議会との合同研修会
テーマ：看護をつなぐ
～安心して療養生活を続けるための連携の在り方～
 - ② 高齢者ケア施設看護師交流会
テーマ：看護Ⅱ領域でのBCP作成について
～地域での連携の在り方について考える～

IV. 地域ケアサービスの推進に関する事業

1. 看護の心普及啓発事業

1) まちの保健室の開催

(1) まちの保健室

場所：スーパーセンターオークワセントラルシティ和歌山店 4回

(2) 高校生・短大生への健康チェック

2) 看護週間事業

・ふれあい看護体験

・8地区支部での1日まちの保健室

・看護の日の記念行事（ナースデイフェスタ 和歌山）令和4年5月7日（土）

3) 看護学生への進路相談

4) 看護の「出前授業」

5) 老人看護月間行事（8地区支部で実施）

・「出前健康チェック」等

V. 日本看護協会との協力及び連携に関する事業

1. 日本看護協会との連携

1) 日本看護協会主催の会議

(1) 通常総会（幕張メッセ） 令和4年6月8日（水）

全国職能交流集会（幕張メッセ）

(2) 理事会 年6回

(3) 全国職能委員長会

(4) 全国法人会員会

(5) 地区別法人会員会（京都） 令和4年10月17日（月）

地区別職能委員長会

(6) 各担当者会議

・都道府県看護協会政策責任者会議

9/29

・都道府県看護協会看護労働担当者会議

5/19

・都道府県看護協会会員情報管理情報交換会

9/7

・都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議

11/18

・ナースセンター事業担当者会議

5/20

・都道府県看護協会図書室担当者会議

7/21

・都道府県看護協会広報担当役員会議

11/10

・都道府県看護協会災害看護担当者会議

・全国看護基礎教育担当役員会議

・認定看護管理者教育機関担当者会議

5/27

・母子のための地域包括ケアシステム推進会議

7/27

・院内助産・助産師外来推進フォーラム（仮）

1/26

(7) 2022年度「看護師基礎教育を考える会」

8月

2. 日本看護協会重点政策への協力

- 1) 全世代の健康を支える看護機能の強化
- 2) 専門職としてのキャリア継続の支援
- 3) 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮
- 4) 地域の健康危機管理体制の構築

VI. その他本会目的達成のために必要な事業

1. 組織強化に関する事業

- 1) 会員数の増加・拡大
 - (1) ホームページの充実
 - (2) 新人看護職員オリエンテーション
 - (3) 病院協会 新人職員オリエンテーション
 - (4) 看護師等学校養成所の行事への参加
 - (5) 看護学校への訪問
 - (6) 各施設への訪問
- 2) 会員サービスの充実
 - (1) ホームページ等での情報提供
 - (2) 会員からの問い合わせ・相談対応
 - (3) 会員の福利厚生（表彰・慶弔見舞・災害見舞等）
- 3) 地域における看護職のネットワーク強化事業（県看護協会の普及・啓発）

2. 円滑な組織運営

- 1) 諸会議の開催
 - (1) 通常総会 令和4年6月25日（土） 場所：和歌山県看護協会 大ホール
 - (2) 理事会（年6回）
 - (3) 支部会議
 - (4) 理事・各委員長合同会議（年2回）
 - (5) 代議員研修会
 - (6) 監査（年2回）
 - (7) 各委員会の開催
 - ①各職能委員会
保健師職能委員会
助産師職能委員会
看護師職能委員会Ⅰ
看護師職能委員会Ⅱ
 - ②常任委員会
社会経済福祉委員会
教育委員会
広報委員会
看護研究学会委員会

医療安全対策委員会

災害看護対策委員会

③特別委員会

まちの保健室運営委員会

ナースセンター事業推進委員会

認定看護管理者教育運営委員会

認定看護師フォローアップ委員会

④その他 委員会

和歌山認定看護管理者会

推薦委員会

2) 広報

(1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」発行 年4回

ナースセンターだより 年4回(再掲)

(2) ホームページの充実及び閲覧の推進

3. 認定看護管理者による看護管理者からの相談窓口

・「よろず相談」の案内

4. 政策への参画

- ・行政や県議会等への要望
- ・和歌山県看護連盟との連携

5. 関係団体共同事業参加

- 1) 関係機関の委員会および協議会等への参画
- 2) 後援・協賛依頼への協力

提 出 議 題

第一号議案	令和 4 年度役員及び推薦委員の選出について …………… 57
-------	---------------------------------

令和 5 年度公益社団法人日本看護協会代議員及び
予備代議員の選出について

第二号議案	令和 3 年度決算報告並びに監査報告 …………… 59
-------	-----------------------------

議決事項

第一号議案

令和 4 年度 役員及び推薦委員の選任について

改選役員候補者一覧

役員名	氏名	施設名	備考
会長	東 直子	看護協会	推薦委員会推薦
副会長	岡本 恭子	和歌山県立医科大学助産専攻科	推薦委員会推薦
副会長	竜田 登代美	東京医療保健大学和歌山看護学部	推薦委員会推薦
専務理事	岡室 優	看護協会	推薦委員会推薦
常任理事	松下 津也子	看護協会	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 伊都地区	西 未知子	橋本市民病院	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 那賀地区	稲垣 伊津穂	医療法人共栄会 名手病院	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 有田地区	御前 有美	有田市立病院	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 日高地区	小松 香世美	ひだか病院	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 田辺地区	谷本 あけみ	田辺市役所	推薦委員会推薦
准看護師理事	嶋田 順子	済生会有田病院	推薦委員会推薦
監事	黒田 美也子	医療法人西村会 向陽病院	推薦委員会推薦

推薦委員候補者一覧

	氏名	施設名	備考
推薦委員	日裏 明美	那賀振興局健康福祉部(岩出保健所)	推薦委員会推薦
推薦委員	平井 佳津	有田振興局健康福祉部(湯浅保健所)	推薦委員会推薦
推薦委員	大川 知子	和歌山労災病院	推薦委員会推薦
推薦委員	寺本 りか	紀南病院	推薦委員会推薦
推薦委員	柴田 かおり	医療法人共栄会 名手病院	推薦委員会推薦
推薦委員	坂井 多恵子	那智勝浦町立温泉病院	推薦委員会推薦
推薦委員	有本 大	あうる訪問看護ステーション	推薦委員会推薦
推薦委員	木村 公美	社会医療法人黎明会 訪問看護ステーション・キタ	推薦委員会推薦

令和5年度 代議員推薦者名簿

職種	氏名	施設名
保健師	谷本 あけみ	田辺市役所
助産師	原田 加代	紀南病院
和歌山地区(看護師)	桑原 千晶	医療法人曙会 和歌浦中央病院
有田地区(看護師)	御前 有美	有田市立病院
那賀地区(看護師)	稲垣伊津穂	医療法人共栄会 名手病院
准看護師	橋爪 ゆり	有田市立病院

令和5年度 予備代議員推薦者名簿

職種	氏名	施設名
保健師	竜田 登代美	東京医療保健大学和歌山看護学部
助産師	岡本 恭子	和歌山県立医科大学助産専攻科
和歌山地区(看護師)	木村 和美	和歌山県立医科大学附属病院
看護師	東 るみ子	社会医療法人黎明会 北出病院
看護師	北垣 郁子	和歌山県立こころの医療センター
准看護師	嶋田 順子	済生会有田病院



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 **和歌山県看護協会**

〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂17番地

TEL : 073 (483) 1005 FAX : 073 (483) 1266

URL : <https://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>